

OKI

溶剤インク カラーインクジェットプリンター

IP-7900-22/23

応用操作ガイド

ご使用前に、本書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。

また、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管してください。

2

Document number

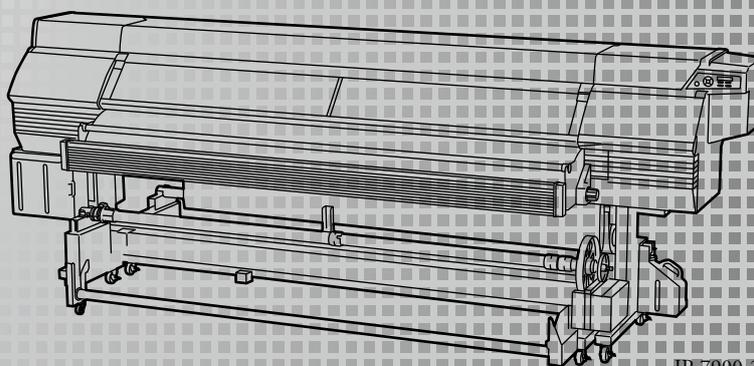
こんなときは

調整する

メニューツリー

索引

Color Painter H3-104s



IP-7900-22

Copyright© 2014 株式会社沖データ
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

「JISC61000-3-2 適合品」

JISC61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

警 告

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条等

はじめに

このたびは、IP-7900-22/-23 溶剤インク カラーインクジェットプリンター（以後、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、USB インタフェースを搭載し、104 インチ幅までのメディア対応の溶剤インクを採用したカラーインクジェットプリンターです。

本書、「**IP-7900-22/-23 溶剤インク カラーインクジェットプリンター 応用操作ガイド**」では、主に本機の調整や機能設定操作について説明しています。

ご使用前に知っておいていただきたい情報や、電源のオン／オフ、メディア・インクのセット方法など、基本的な取り扱い方法に関しては、別冊の「基本操作ガイド」をご覧ください。

なお、基本操作ガイドに記載の次の事項は、本機を正しく安全にお取り扱いいただくために、本機をご使用になる前に必ずお読みください。

- ・安全にお使いいただくために
- ・納入品
- ・マニュアルの表記について

また、本書はお読みいただいた後も、必要なときにすぐ見られるよう、大切に保管してください。

目的別もくじ



基本操作ガイド

本機を初めて使う場合にまずはお読みください。
メディアのセット方法、印刷から印刷物の回収、使用後のメンテナンス方法など、日常的な使用方法を説明しています。

とりあえず印刷したい！

参照ページ
📖 24 ページ

いろんなメディアで印刷したい！

📖 50 ページ

両面印刷をしたい！

📖 56 ページ

プリンターのメンテナンス方法は？

📖 60 ページ

インクカートリッジを交換したい！

📖 129 ページ

廃インクボトルを交換したい！

📖 127 ページ

エラーメッセージが表示された！

📖 116 ページ

メディアジャムになった場合は？

📖 115 ページ



応用操作ガイド

細かい設定や調整など、本機の性能を十分に発揮させ、効果的に本機をご使用いただくための内容を説明しています。

プリンターの細かい調整をしたい！

参照ページ
📖 74 ページ

メディアを登録したい！

📖 26 ページ

印刷物にスジ、カスレ、ニジミがある！

📖 55 ページ

長時間プリンターを OFF にしたい！

📖 8 ページ

シートメディアに印刷するには？

📖 42 ページ

印刷中にヒーターの温度を変えたい！

📖 69 ページ

もくじ

| | |
|--------------|---|
| はじめに | 3 |
| マニュアルの表記について | 7 |

こんなときは 8

| | |
|------------------|----|
| 2週間以上、本機を使用しない時 | 8 |
| ◆サービスクリーン | 9 |
| ◆ヘッドウォッシュ | 14 |
| ◆ヘッドウォッシュ後のインク充填 | 19 |

プリンターの情報を確認する 22

| | |
|------------------------|----|
| ◆インクの残量を確認したい | 22 |
| ◆メディアの残量を確認したい | 23 |
| ◆プリンター情報を見たい | 23 |
| ◆USBの接続状態を確認したい | 24 |
| ◆システム F/W のバージョンを確認したい | 25 |
| ◆プリンターの積算印刷距離を確認したい | 25 |

メディアの取り扱い 26

| | |
|-----------------------------------|----|
| ◆メディアを登録したい | 26 |
| ◆登録したメディアを呼び出したい | 28 |
| ◆左右の余白をできるだけなくしたい | 28 |
| ◆メディアの張り付きやしわをなくしたい | 30 |
| ◆メディアの浮き上がりを防止したい | 31 |
| ◆厚いメディアに印刷したい | 32 |
| ◆メディアのしわを検出したら印刷を止めたい | 33 |
| ◆オートクリーニングのタイミングを変えたい | 34 |
| ◆登録されているメディアをコピーしたい | 35 |
| ◆メディアをセットし直さずに、登録したメディアの種類を切り替えたい | 37 |
| ◆メディアを送りたい/戻したい | 37 |
| ◆印刷の書き出し位置を移動させたい | 39 |
| ◆ロールメディアを極力最後まで使いたい | 40 |
| ◆シート（カット）メディアに印刷したい | 42 |
| ◆印刷が始まる直前に前の余白を調節したい | 44 |
| ◆印刷中にエッジガードをセットし直したい | 45 |
| ◆印刷中にメディアの皺を少し直したい | 46 |
| ◆たるみ巻き時のスキューを防止したい | 46 |

プリンターの設定をする 48

| | |
|---------------------|----|
| ◆警告音を鳴らさないようにしたい | 48 |
| ◆システム F/W をアップデートする | 48 |

クリーニングオプション 49

| | |
|-----------------------|----|
| ◆プリントヘッドを選んでクリーニングしたい | 49 |
|-----------------------|----|

送り補正值の管理 51

| | |
|-----------------|----|
| ◆印刷中に送り補正值を変更する | 51 |
|-----------------|----|

印刷条件について 52

| | |
|--------------|----|
| ◆「インサツモード」設定 | 52 |
| ◆「スマートパス」設定 | 53 |
| ◆「ノウド」設定 | 53 |

こんな症状が出たら 55

| | |
|-------------------|----|
| ◆印刷が薄い | 55 |
| ◆印刷開始時に印刷抜けが発生する | 55 |
| ◆メディアにシワ・カールが発生する | 56 |
| ◆印刷物に白スジが入る | 57 |
| ◆印刷物に黒スジが入る | 59 |
| ◆印刷物に汚れが入る | 61 |
| ◆印刷物にニジミが入る | 63 |
| ◆印刷物の端に縦スジが入る | 64 |
| ◆印刷物の左右で異なるスジが入る | 65 |
| ◆印刷物に縦縞が入る | 66 |

印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる 67

| | |
|-----------|----|
| ◆強カクレーニング | 67 |
| ◆フィルキャップ | 68 |

ヒーターの設定をする 69

| | |
|-------------------------|----|
| ◆ヒーター温度設定の流れ | 69 |
| ◆ヒーターコントロールメニューを表示する | 70 |
| ◆ヒーターコントロールメニューのキー操作 | 70 |
| ◆ヒーターコントロールメニューの表示を終了する | 70 |
| ◆初期値温度を設定する | 71 |
| ◆スタンバイ時間を設定する | 72 |

スマートパステクノロジーについて 73

調整する 74

調整をする前に 74

| | |
|----------------|----|
| ◆自動印刷調整の注意事項 | 75 |
| ◆自動印刷調整が実行できない | 75 |

調整方法 77

| | |
|---------------------------------|----|
| ◆メディアの送り量を調整する「送り調整」 | 77 |
| ◆往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」 | 82 |
| ◆オートクリーニング前後の画像のつなが目を調整する「戻し調整」 | 87 |
| ◆プリントヘッドの位置と左右位置を調整する「ヘッド調整」 | 89 |
| ◆エッジセンサーの位置を補正する「エッジセンサー調整」 | 92 |

メニューツリー 94

索引 100

マニュアルの表記について

本書で説明に使用する、マーク、キー／LCD／LEDなどの表記ルールを以下に示します。

マーク表記について

警告

- ◆ 安全上の注意における「警告」に相当する内容を説明しています。

注意

- ◆ 安全上の注意における「注意」に相当する内容を説明しています。



参考文

- ◆ 知っておくと便利なこと、操作などの補足事項を記載しています。

 「参照」マークです。
このマークの後に、参照項や参照ページを示しています。



2週間以上、本機を使用しない時

本機はプリントヘッドの状態を良好に保つため、装置が待機状態になってから72時間経過したのち、フィルキャップ動作を行います。(その後は3日毎に行います。)

そのため、本機の電源は常にオンのままにしておくことを推奨いたします。

電源オンのままでも、2週間以上使用しなかった場合は、以下の手順を参照してヘッドウォッシュ、インク充填、日常メンテナンスを実施する必要があります。

やむを得ず電源オフで長期間使用しない場合は、以下を参照してサービスクリーンを実施後、電源をオフしてください。



フィルキャップとは？

- ◆ キャップ内にインクを充填してプリントヘッド(ノズル面)をインクで浸し、ノズル詰まりを防ぐ機能です。



電源オフ

一時的

数日間

2週間以上

1ヶ月以上

サービスクリーン 9 ページ

プリントヘッドとインク経路を保管液で洗浄後、保管液を充填した状態で保存します。保管液セットをご用意ください。

本機を1ヶ月以上放置する場合は、あらかじめ販売店または、最寄りの弊社サービス拠点にご相談ください。

電源をオンしたときにサービスコールエラーが表示されますので、販売店または最寄りの弊社サービス拠点までご連絡ください。



電源オン

ヘッドウォッシュ 14 ページ

洗浄液でプリントヘッドおよびインク経路を洗浄します。洗浄液セットをご用意ください。

インク充填 19 ページ

ヘッドウォッシュを実施後、インクトレイを挿入し、インクを充填します。

日常メンテナンス (基本操作ガイド 60 ページ)

日常メンテナンスを実施してください。

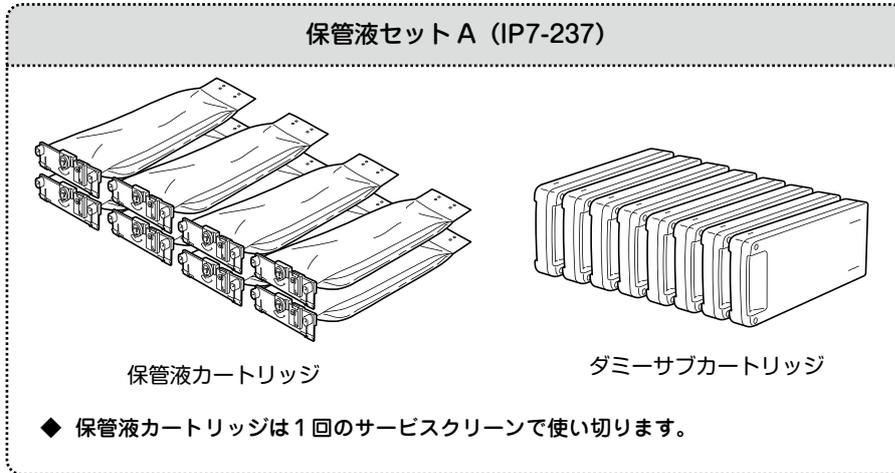
注意

- ◆ プリントヘッド保護のために、本機にインクが空の状態でも1ヶ月以上放置することは避けてください。
- ◆ サerviスクリーン、ヘッドウォッシュ実行中にフロントカバーや加圧操作ノブを開閉しないようにしてください。開閉すると、動作を最初からやり直す場合があり、インクやクリーニング液が無駄になる場合があります。

- 電源をオフする／●プリンターの情報を確認する／●メディアの取り扱い／●プリンターの設定をする／●その他
- 印刷モードについて／●こんな症状が出たら／印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる／
- ヒーターの設定をする／●スマートパステクノロジーについて

◆サービスクリーン

- **必要なもの** 作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。



■ ご注意

- ◆ LCD 上ではサブカートリッジ（カバー）のことをサブタンク（カバー）と表示します。

サブタンクカバー
サブタンクカバー — サブカートリッジカバーのことです。

Lm2サブタンク
Lm2サブタンク — サブカートリッジのことです。

1 廃インクボトルを空にする

2 ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→



本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す

3 ↑バックフィード フィード ↓
←クリーニング サービス→



> キーを押す

4 #キャップクリーニング
>



✓ キーを押して、「#サービスクリーン」を選択する

5 #サービス
>サービススクリーン



OK キーを押す

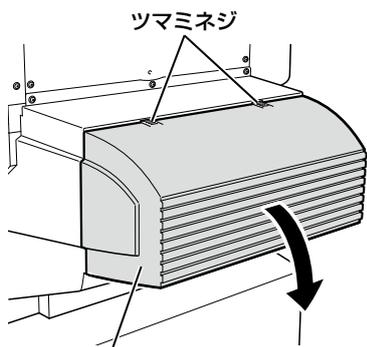
6

#サービ ス
*サービ ススクリーン



OK キーを押す

7



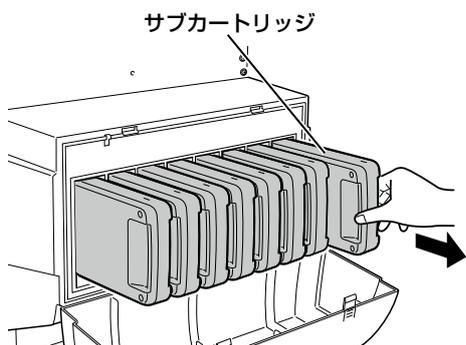
サブカートリッジカバー

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

サブ タンクカバー
ハズ シテクダ サイ

8

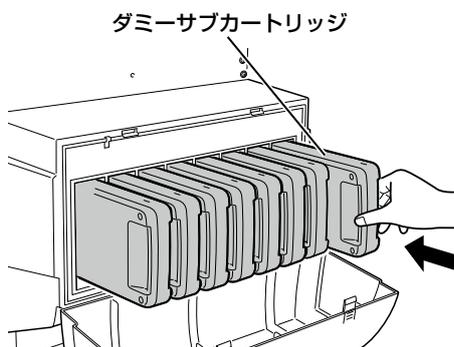


サブカートリッジ

サブカートリッジ (8本) を取り外す

Y1サブ タンク
ハズ シテクダ サイ

9

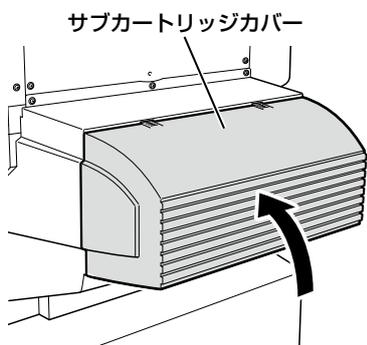


ダミーサブカートリッジ

保管液セットAのダミーサブカートリッジをセットする

Y1ダ ミーサブ タンク
セットシテクダ サイ

10

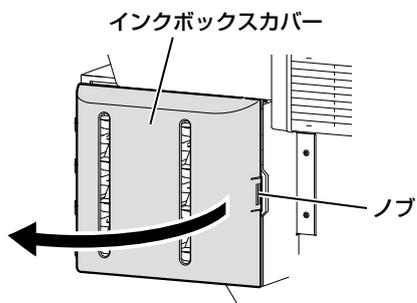


サブカートリッジカバー

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

サブ タンクカバー
トリツケテクダ サイ

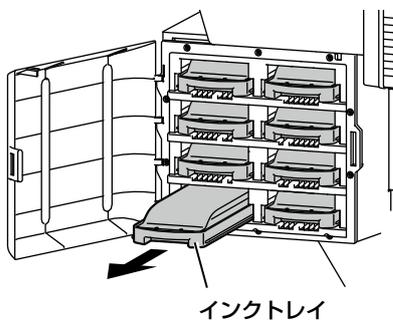
11



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタ[®]サイ

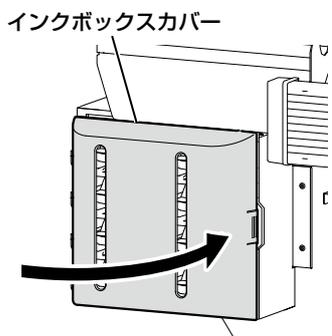
12



インクトレイ (8個) を取り外す

Y1インクパ[®]ックラ
ヌイテクタ[®]サイ

13



インクボックスカバーを閉める

インクカバ[®]ーラ
シメテクタ[®]サイ

14

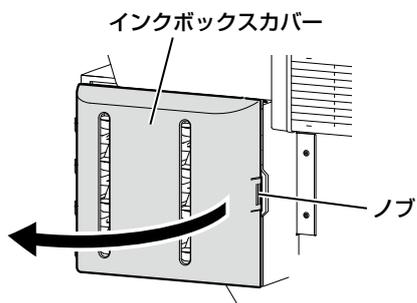
ヌキトリスタート
*ホ[®]トルカクニン OK?



ヌキトリチュウ
シハ[®]ラクオマチクタ[®]サイ 12

OK キーを押す
抜き取りを実行します。

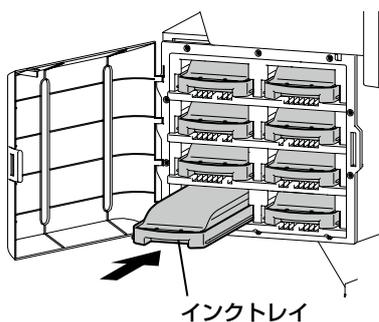
15



インクボックスカバーを開ける

インクカバ[®]ーラ
アケテクタ[®]サイ

16

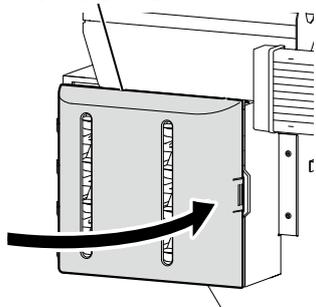


保管液カートリッジをセットしたインクトレイをセットする

Y1ホカンエキパ[®]ックラ
セツトシテクタ[®]サイ

17

インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクトサイ

◇ 別売のインクトレイに予め保管液カートリッジをセットしておく、作業をスムーズに行うことができます。

18

ジュウテンスタート
*ホトルカクニン OK?

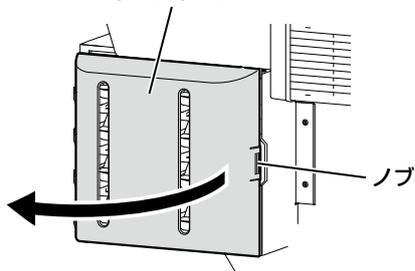


ジュウテンチュウ
シバラクオマチクトサイ 12

OK キーを押す

19

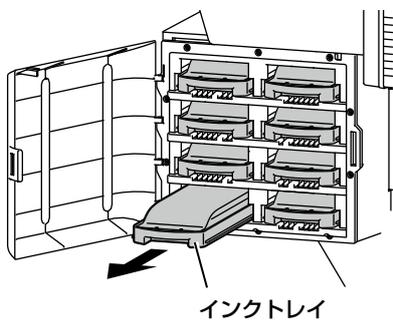
インクボックスカバー



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクトサイ

20

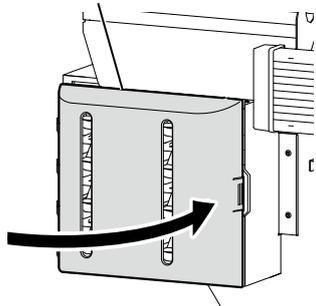


保管液カートリッジをセットしたインクトレイを取り外す

Y1 ホカンエキハックヲ
ヌイテクトサイ

21

インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクトサイ

22

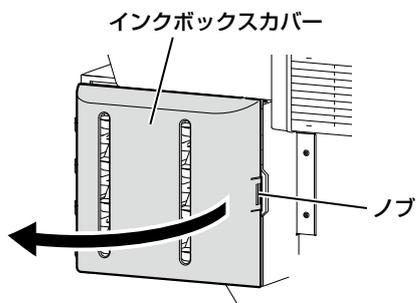
ヌキトリスタート
*ホトルカクニン OK?



ヌキトリチュウ
シバラクオマチクトサイ 12

OK キーを押す
抜き取りを実行します。

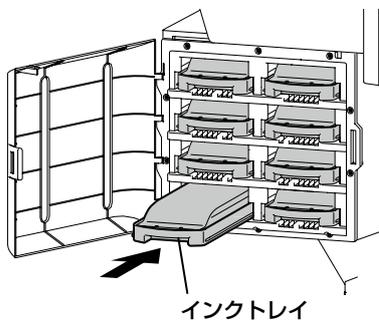
23



インクボックスカバーを開ける

インクカバーヲ
アケテクダサイ

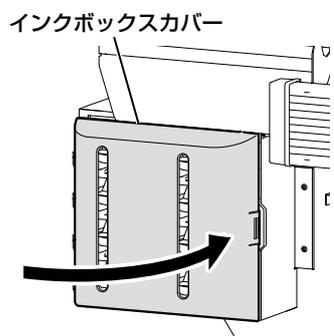
24



保管液カートリッジをセットしたインクトレイをセットする

Y1 ホカンエキパックヲ
セツシテクダサイ

25



インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクダサイ

26

ジューテンスタート
*ホトルカクニン OK?



ジューテンチュウ
シハラクオマチクダサイ 12

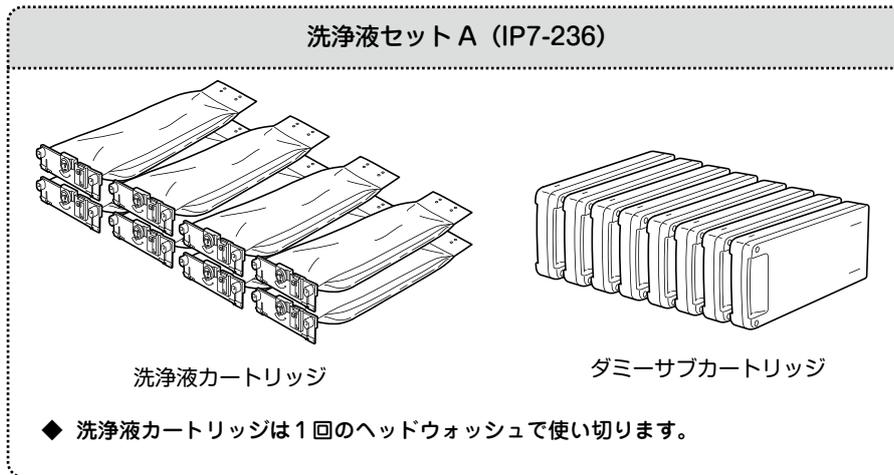


#サービス
>サービスクリーン

OK キーを押す

◆ヘッドウォッシュ

■ **必要なもの** 作業を始める前に、以下のものが揃っているか確認してください。



■ ご注意

◆ LCD 上ではサブカートリッジ (カバー) のことをサブタンク (カバー) と表示します。

サブタンクカバー
ハスシテクダサイ — サブカートリッジカバーのことです。

Lm2サブタンクヲハスシテクダサイ — サブカートリッジのことです。



◇ 別売のインクトレイに予め洗浄液カートリッジをセットしておく、作業をスムーズに行うことができます。

1 廃インクボトルを空にする

2 ↑インク トウロク↓
←メデア チョウセイ→

本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す



3 ↑バックフィード フィード↓
←クリーニング サービス→

> キーを押す



4 #キャップクリーニング
>

✓ キーを数回押して、「#サービス」を選択する



5 #サービス
>サービススクリーン

OK キーを押す



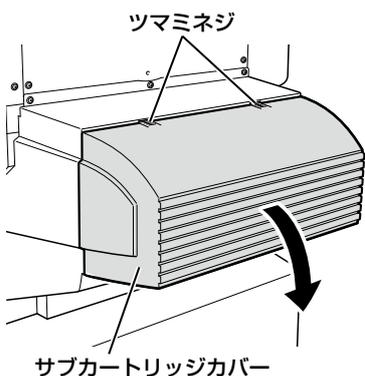
6 #サービス
*サービススクリーン



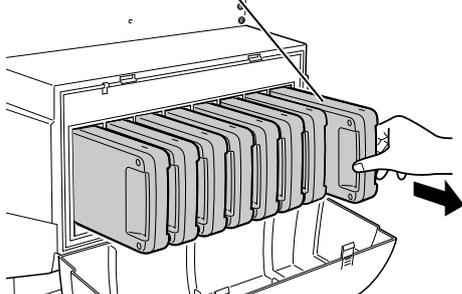
7 #サービス
*ヘッドウォッシュ



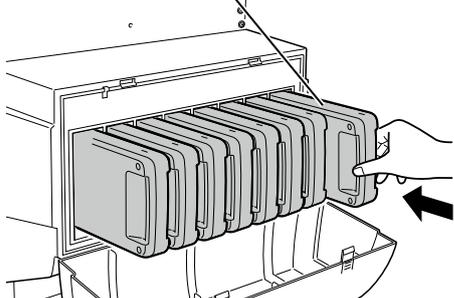
8



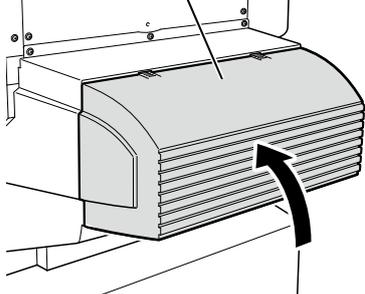
9 保管液セットAのダミーサブカートリッジ



10 洗浄液セットAのダミーサブカートリッジ



11 サブカートリッジカバー



☑ キーを押して、「*ヘッドウォッシュ」を選択する

OK キーを押す

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

サブタンクカバーヲ
ハズシテクダサイ

保管液セットAのダミーサブカートリッジ(8本)を取り外す

Y1タミ-サブタンクヲ
ハズシテクダサイ

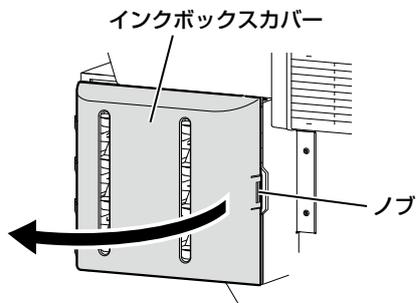
洗浄液セットAのダミーサブカートリッジ(8本)をセットする

Y1タミ-サブタンクヲ
セットシテクダサイ

サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

サブタンクカバーヲ
トリツケテクダサイ

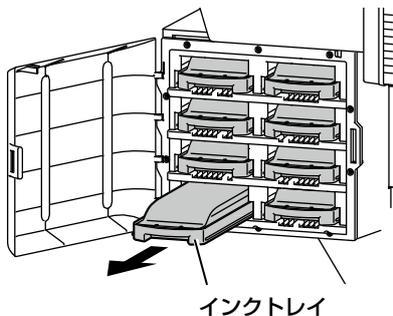
12



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

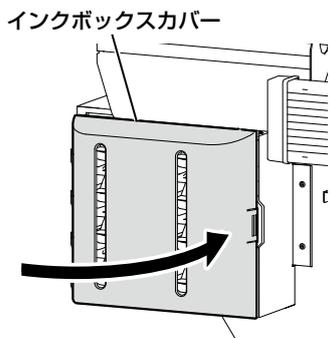
13



インクトレイ（8個）を取り外す

Y1ホカンエキハックラ
ヌイテクタサイ

14



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタサイ

15

ヌキトリスタート
*ボトルカクニン OK?

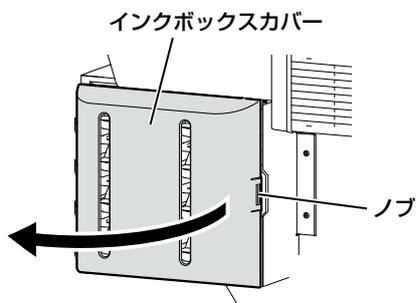


ヌキトリチュウ
シハラクオマチクタサイ 12

OK キーを押す

抜き取りを実行します。

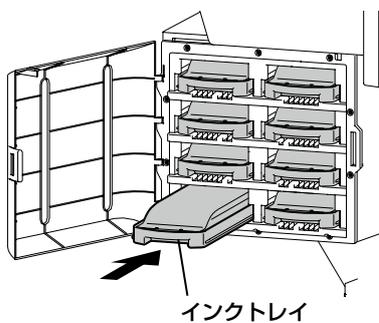
16



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

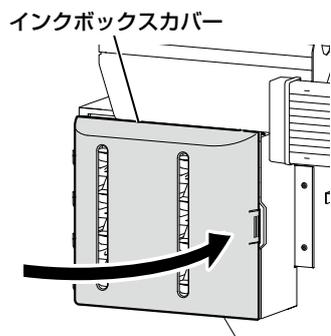
17



洗浄液カートリッジをセットしたインクトレイをセットする

Y 1 センジ ヨウエキハ ックヲ
セツシテクタ サイ

18



インクボックスカバーを閉める

インクカバーヲ
シメテクタ サイ

19

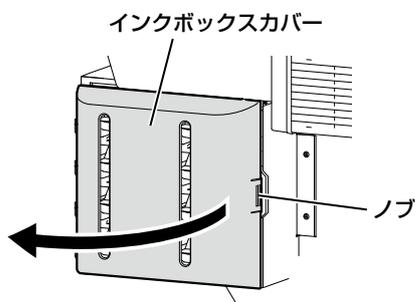
ジューテンスタート
*ボトルカクニン OK?



ジューテンチュウ
シハ ラクオマチクタ サイ 12

OK キーを押す

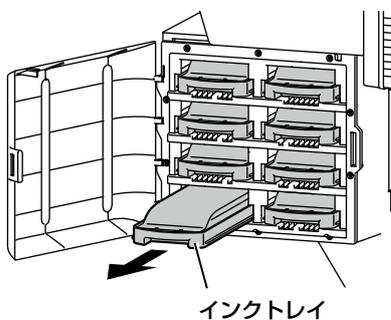
20



インクボックスカバーを開ける

インクカバーヲ
アケテクタ サイ

21

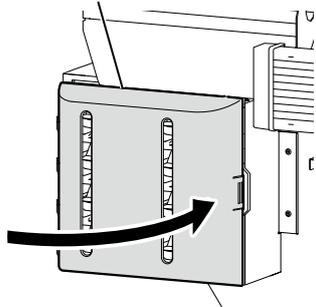


洗浄液カートリッジをセットしたインクトレイを取り外す

Y 1 センジ ヨウエキハ ックヲ
ヌイテクタ サイ

22

インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタサイ

23

ヌキトリスタート
*ボトルカクニン OK?



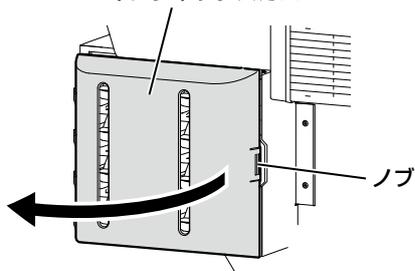
ヌキトリチュウ
シバラクオマチクタサイ 12

OK キーを押す
抜き取りを実行します。

24 16 ~ 19 の手順をくりかえし、再度洗浄を実行する

25

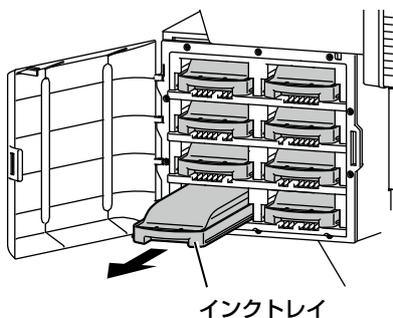
インクボックスカバー



インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

26

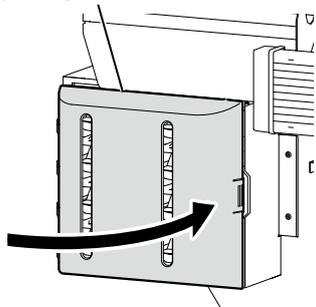


洗浄液カートリッジをセットしたインクトレイを取り外す

Y1 センジヨウエキパック
ヌイテクタサイ

27

インクボックスカバー



インクボックスカバーを閉める

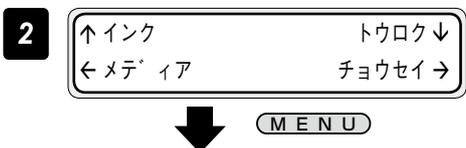
インクカバー
シメテクタサイ



キーを押す

◆ヘッドウォッシュ後のインク充填

1 廃インクボトルを空にする



本機をオフラインにして、 キーを押す



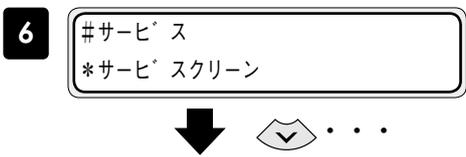
キーを押す



キーを数回押して、「#サービス」を選択する



キーを押す



キーを数回押して、「*ジュウテン (インクパック)」を選択する



キーを押す

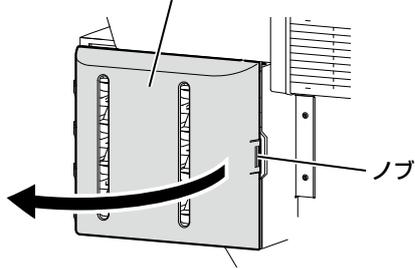
8

#サービス
*ボトルカクニン OK?

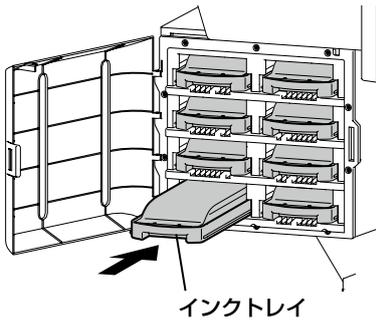


9

インクボックスカバー

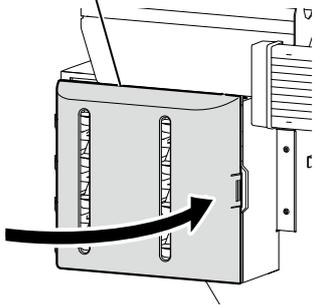


10



11

インクボックスカバー



12

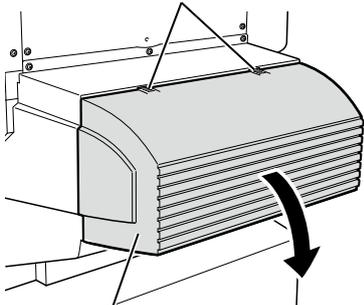
ジュウテンスタート
*ボトルカクニン OK?



ジュウテンチュウ
シハラクオマチクタサイ 12

13

ツマミネジ



サブカートリッジカバー

廃インクボトルが空になっていることを確認して、OK キーを押す

インクボックスカバーを開ける

インクカバー
アケテクタサイ

インクトレイをセットする

Y1 インクパックヲ
セットシテクタサイ

| インクトレイ | |
|--------|-----|
| Lg8 | Y1 |
| M7 | Lm2 |
| Lc6 | C3 |
| K5 | Gy4 |

インクボックスカバーを閉める

インクカバー
シメテクタサイ

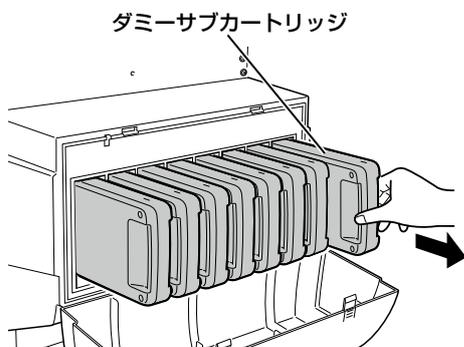
OK キーを押す

サブカートリッジカバーを開ける

ツマミネジ2ヶ所をゆるめて、サブカートリッジカバーを開けます。

サブタンクカバー
ハスシテクタサイ

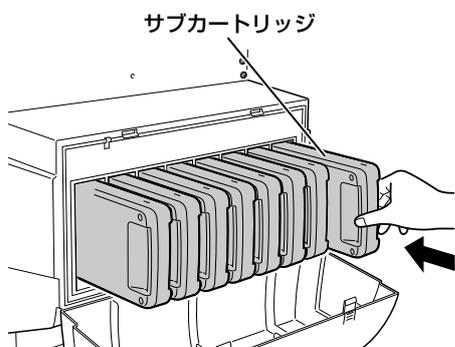
14



洗浄液セットAのダミーサブカートリッジ(8本)を取り外す

Y1ダミーサブタンクヲハ
セットシテクタサイ

15

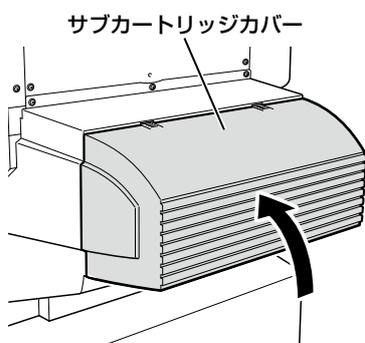


サブカートリッジ(8本)をセットする

Y1サブタンクヲ
セットシテクタサイ

| サブカートリッジ | | | | | | | |
|----------|----|---|----|---|----|---|----|
| Y | Lm | C | Gy | K | Lc | M | Lg |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |

16



サブカートリッジカバーを閉め、ツマミネジ2ヶ所を締める

サブタンクカバーヲ
トリツケテクタサイ

17

#クリーニングスタート
*ボトルカクニン OK?



クリーニングチュウ
シハラクオマチクタサイ 12



#サービス
>シユウテン(インクパック)

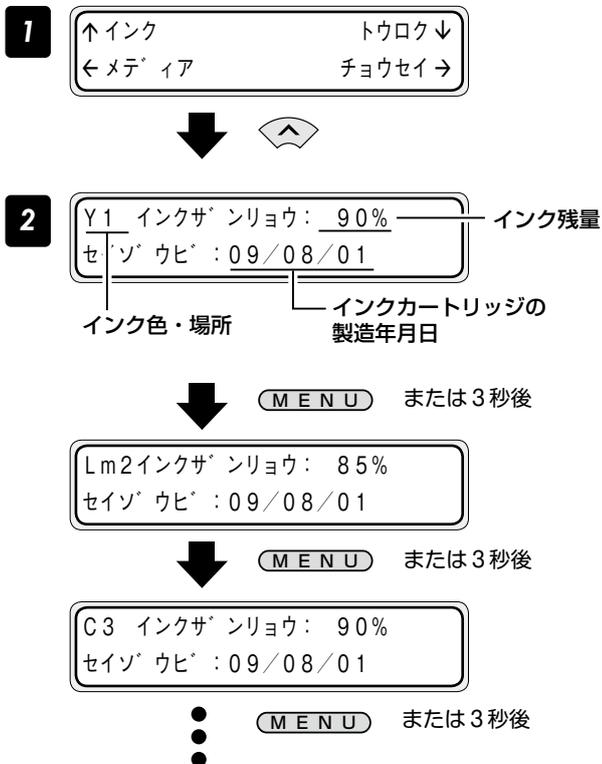
OK キーを押す

ツウジョウクリーニングが行われます。
クリーニングが終了すると元の画面に戻ります。

プリンターの情報を確認する

◆インクの残量を確認したい

■ オフラインにして確認する



本機をオフラインにし、 キーを押す

MENU キーを押してインク色を切り替える
3秒間隔でインク色が切り替わります。

CANCEL キーまたは  キーを押すとオフライン(メニューモード) 表示に戻ります。

ONLINE キーを押すとオンライン(アイドルモード) 表示に移行します。

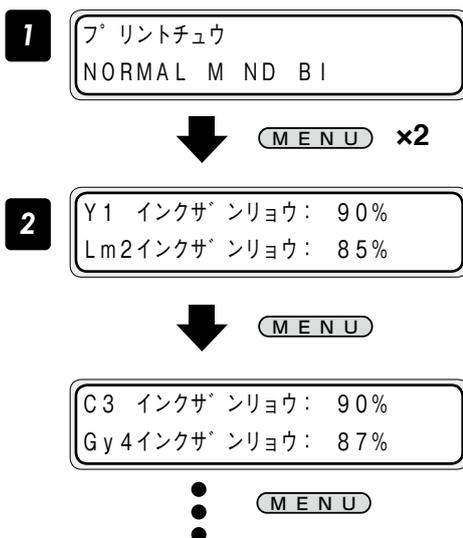
 **インク残量が少なくなると…**

◇ 以下のように表示されます。

Y1 インクサ ンリョウ: LOW
セ イゾ ウビ: 09/08/01

インク色・場所

■ 印刷中(オンライン中)に確認する

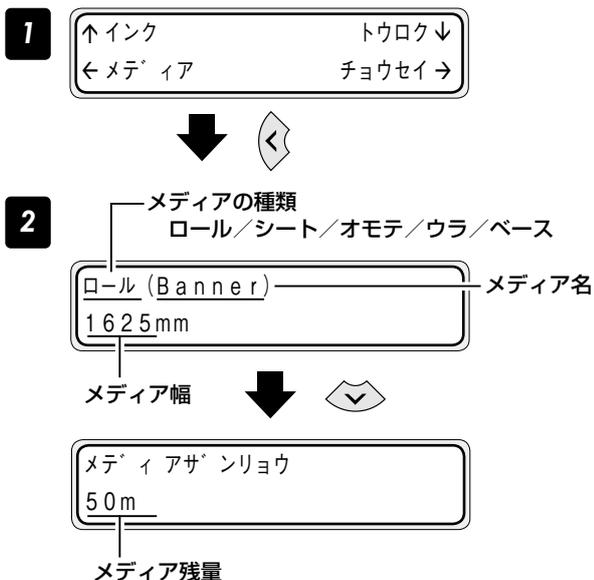


MENU キーを2回押す

MENU キーを押してインク色を切り替える

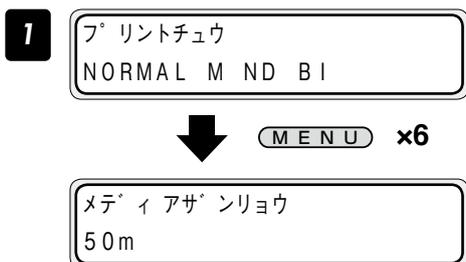
◆メディアの残量を確認したい

■ オフラインにして確認する



本機をオフラインにし、 キーを押す

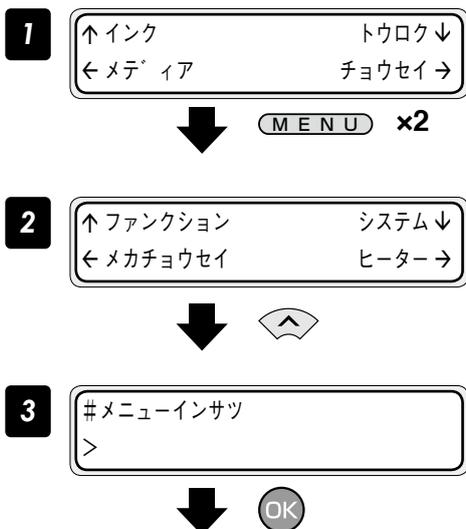
■ 印刷中（オンライン中）に確認する



MENU キーを6回押す

◆プリンター情報を見たい

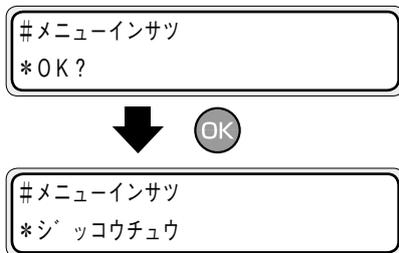
プリンター情報、パネル設定情報などを印刷します。



本機をオフラインにし、**MENU** キーを2回押す

キーを押す

OK キーを押す



OK キーを押す
プリンター情報が印刷されます。

◆ USB の接続状態を確認したい



本機をオフラインにし、**MENU** キーを2回押す

キーを押す

キーを数回押して、「# USB アドレス」を選択する

USB アドレスが表示される

USB アドレスが「000」と表示された場合、USB ケーブルを接続し直してください。

キーを押す

USB スピードが表示される

「FULL-SPEED」と表示された場合、印刷が遅くなります。

◆システム F/W のバージョンを確認したい

1 ↑インク トウロク↓
←メテ ィア チョウセイ→

↓ MENU x2

本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

2 ↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒーター→

↓

☑ キーを押す

3 #LANGUAGE
>JAPANESE

↓ ☑ . . .

☑ キーを数回押して、「# F/W バージョン」を選択する

#F/Wバ-ジ ョン
*X. XX_YY

システム F/W バージョンが表示される

◆プリンターの積算印刷距離を確認したい

本機がこれまでに印刷した距離の合計を確認することができます。

1 プリントチュウ
NORMAL M ND BI

↓ MENU

オンライン中に MENU キーを押す

ソウコウキョリ
XXXXXXXXm

積算印刷距離

メディアの取り扱い

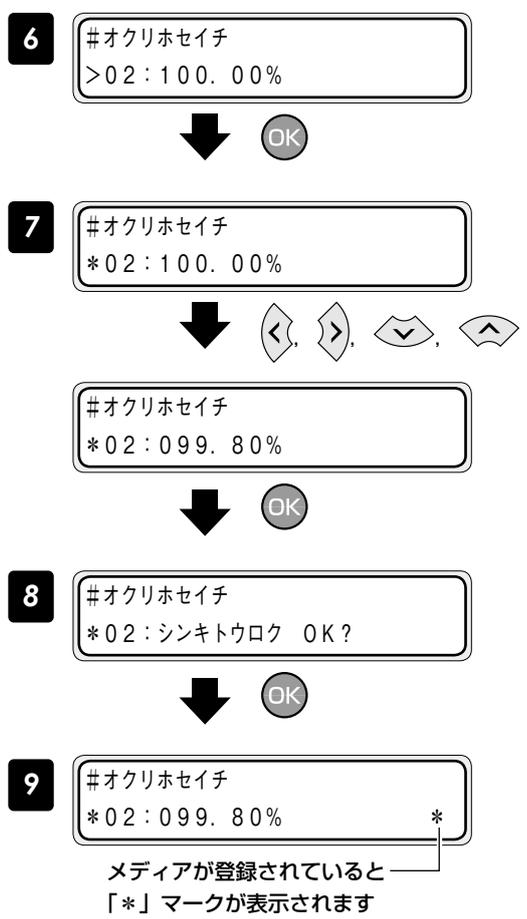
◆メディアを登録したい

以下のトウロクメニューのメディア情報を、最大 20 種類まで登録できます。



ここでは、メディア番号「02」のメディアに、送り補正值を入力する方法を例にして説明します。





OK キーを押す

送り補正値を入力し、OK キーを押す

◀, ▶ キーで桁を合わせ、↑, ↓ キーで数値を設定します。

OK キーを押す

■ プリセットメディア初期値

最大 20 種類（メディア番号 01 ～ 20）のメディアが登録でき、登録したメディアの削除や変更も可能です。ただし、本機の出荷時に登録されている、以下のメディア番号 01 から 05 のメディア情報を削除することはできません。以下に初期値を示します。

| メディア番号 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 |
|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| メディア名 | PAPER | Glossy | Matte | Banner | BLT_B |
| エッジガード | 使用 | 使用 | 使用 | 使用 | 使用 |
| スキューチェック | オン | オン | オン | オン | オン |
| メディア送りモード | シーケンス 1 | シーケンス 1 | シーケンス 1 | シーケンス 2 | シーケンス 2 |
| メディア戻しモード | 戻す | 戻す | 戻す | 戻す | 戻す |
| 吸着ファン | 中 | 中 | 中 | 弱 | 弱 |
| アフターヒーター初期値 | **℃ | 50℃ | 50℃ | 50℃ | 50℃ |
| プリントヒーター初期値 | **℃ | 40℃ | 40℃ | 40℃ | 40℃ |
| プリヒーター初期値 | **℃ | 45℃ | 45℃ | 45℃ | 45℃ |
| カラーストライブ | オフ | オフ | オフ | オフ | オフ |
| ヘッド高さ調整 | +0.00mm | +0.00mm | +0.00mm | +0.00mm | +0.00mm |
| クリーニングモード | 印刷前&印刷後 | 印刷前&印刷後 | 印刷前&印刷後 | 印刷前&印刷後 | 印刷前&印刷後 |
| ロールエンド検出 | モード 1 |
| 優先順位 送り | データ | データ | データ | データ | データ |
| 優先順位 ヒーター | データ | データ | データ | データ | データ |
| 待機間隔 | 0000 スキャン (なし) |
| 待機時間 | 1 秒 | 1 秒 | 1 秒 | 1 秒 | 1 秒 |
| キャリッジ速度 | 標準 | 標準 | 標準 | 標準 | 標準 |
| セーフ スキャニング | インサツ チュウシ |
| 送り補正値 | 100.00% | * | 100.00% | 100.00% | 100.00% |
| 戻し補正値 | +0000 パルス |
| 往復補正値 1 | +00 | +00 | +00 | +00 | +00 |
| 往復補正値 2 | +00 | +00 | +00 | +00 | +00 |
| 往復補正値 3 | +00 | +00 | +00 | +00 | +00 |
| 往復補正値 4 | +00 | +00 | +00 | +00 | +00 |

* 工場出荷時に調整された値が設定されています。

◆登録したメディアを呼び出したい

1 ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→



本機をオフラインにし、 キーを押す

2 #メディアセンタク
>01:PAPER *

メディアが登録されていると
「*」マークが表示されます



 キーを押す

3 #メディアセンタク
*01:PAPER *



 キーを押す

呼び出したいメディアを選択します。

4 #メディアセンタク
*02:Glossy *



 キーを押す

#メディアセンタク
>02:Glossy *

◆左右の余白をできるだけなくしたい

■メディアエッジガードの使用を「未使用」にする

1 ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→



本機をオフラインにし、 キーを押す

2 #メディアセンタク
>01:PAPER *



 キーを数回押して、「#エッジガード」を
選択する

3 #エッジガード
>01:シヨウ



 キーを押す

4 #エッジ カート
*01:シヨウ



5 #エッジ カート
*01:ミシヨウ



#エッジ カート
>01:ミシヨウ

キーを押す

キーを押す

■ カラーストライプの印刷をオンにする

1 ↑インク トウロク↓
←メテ ィア チョウセイ→



2 #メテ ィアセンタク
>01:PAPER *



3 #カラーストライプ
>01:オフ



4 #カラーストライプ
*01:オフ



5 #カラーストライプ
*01:オン



#カラーストライプ
>01:オン

本機をオフラインにし、 キーを押す

キーを数回押して、「#カラーストライプ」を選択する

キーを押す

キーを押す

キーを押す

◆メディアの張り付きやしわをなくしたい

■ プラテンの吸着ファンの風量を弱くする場合

プラテンにメディアを吸着させる力（吸着ファンの風量）を「弱」にします。コシの弱いメディアなどでシワが発生する場合は、「ジャク」を選択してください。

- 

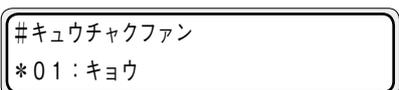
1

本機をオフラインにし、 キーを押す
 - 

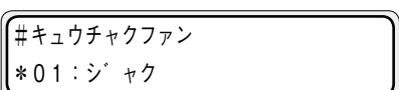
2

 キーを数回押して「#キュウチャクファン」を選択する
 - 

3

 キーを押す
 - 

4

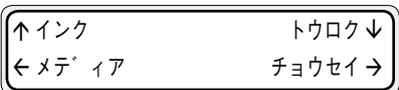
 キーを2回押す
 - 

5

 キーを押す
- 

■ メディアの送りモードを変更する場合

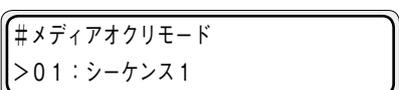
ご使用のメディアによって、メディアの送りモードを選択してください。

- 

1

本機をオフラインにし、 キーを押す
- 

2

 キーを数回押して「#メディアオクリモード」を選択する
- 

3

 キーを押す

4 #メディアオクリモード
*01:シーケンス1

 キーを押す



5 #メディアオクリモード
*01:シーケンス2

 キーを押す



#メディアオクリモード
>01:シーケンス2

| | |
|---------|--|
| シーケンス 1 | 通常のメディア送りシーケンスでメディア送りを実施します。 |
| シーケンス 2 | メディア張り付き対策シーケンスでメディア送りを実施します。 印刷開始時、ポーズ解除時の送り出しで引き剥がし動作を実施します。 |
| シーケンス 3 | メディア張り付き対策シーケンスでメディア送りを実施します。 毎スキャンの送りで引き剥がし動作を実施します。 |
| シーケンス 4 | ソルベント用コート紙のしわ対策シーケンスです。 前回の印刷終了から5分以上経過していた場合に、メディアを30cmフィードしてから印刷を開始します。 |

◆メディアの浮き上がりを防止したい

プラテンにメディアを吸着させる力（吸着ファンの風量）を「強」にします。

1 ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

本機をオフラインにし、 キーを押す



2 #メディアセンタ
>01:PAPER *

 キーを数回押して、「#キュウチャクファン」を選択する



3 #キュウチャクファン
>01:ジャク

 キーを押す



4 #キュウチャクファン
*01:ジャク

 キーを2回押す



5

#キューチャクファン
*01:キョウ

OK

#キューチャクファン
>01:キョウ

OK キーを押す

◆厚いメディアに印刷したい

■プリントヘッドの高さを変える

プリントヘッドの高さは、電源投入時およびメディアセット時に、最適な高さになるよう、本機が自動的に調整します。しかしながら、メディアのコシの強さや温度に対する反応性によっては、さらに調整が必要になることがあります。その場合は、操作パネルからトウロクメニューを選択し、プリントヘッドの高さを調節します。

! 注意

- ◆ プリントヘッドの高さを調節した場合、プリントヘッドとメディアがこすれないように注意して下さい。メディアがこすれると、プリントヘッドの吐出不良を起こし、画質が悪化する原因となります。
また、プリントヘッドの高さとメディアの間隔が開きすぎた場合も、画質が悪化します。基本的には、本機が自動調整したプリントヘッドの高さで使用することをお勧めします。

1

↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

本機をオフラインにし、 キーを押す

2

#メディアセンタク
>01:PAPER *

...

キーを数回押して、「#ヘッドタカサチョウセイ」を選択する

3

#ヘッド*タカサチョウセイ
>01:+0.0mm

OK

OK キーを押す

4

#ヘッド*タカサチョウセイ
*01:+0.0mmプリントヘッド高さの調整値を入力し、OK
キーを押す

, キーで桁を合わせ、, キーで数値を設定します。

調整可能範囲は +0.0 ~ +1.0mm です。

#ヘッド*タカサチョウセイ
*01:+0.1mm

OK

#ヘッド*タカサチョウセイ
>01:+0.1mm

◆メディアのしわを検出したら印刷を止めたい

プリントヘッドがメディアに接触して印刷物を汚さないように、プリントヘッドとメディアの接触を検知したら印刷を止めることができます。メディアの特性に合わせてモードを選択してください。

| | |
|--------------------|---|
| インサツ チュウシ (初期値) | メディアとヘッドの接触を検知すると、すぐに印刷を停止します。印刷が停止したことを、警告音とパネル表示にて通知します。印刷停止後に印刷を再開することはできませんので、メディアを再セット後、再度印刷を行ってください。 |
| インサツ テイシ | メディアとヘッドの接触を検知すると、印刷を一旦停止し、プリントヘッドをキャップします。印刷が一旦停止したことを、警告音とパネル表示にて通知します。メディアの状態を確認し、しわ等が発生している場合は、しわを取り除いた後、印刷を再開することができます。 |
| インサツ ケイコク&テイシ | メディアとヘッドの接触を連続で5回検知すると、印刷を一旦停止し、プリントヘッドをキャップします。メディアとヘッドの接触を検知した時点で、警告音とパネル表示にて通知します。また、印刷が一旦停止した場合は、警告音とパネル表示にて通知します。メディアの状態を確認し、しわ等が発生している場合は、しわを取り除いた後、印刷を再開することができます。 |
| インサツ ケイコク&ゾッコウ | メディアとヘッドの接触を検知しても、印刷を続行します。但し、メディアとヘッドの接触を検知した時点で、警告音とパネル表示にて通知します。接触を検知なくなると、警告音と操作パネルでの通知は止まります。マニュアル操作で印刷を停止させ、しわを取り除いた後、印刷を再開することができます。 |

⚠注意

セーフ スキャンングの設定を「インサツ チュウシ」にした場合、以下に注意してください。

◆ 印刷が停止した時は、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、速やかにメディアの再セットを実施してください。

セーフ スキャンングの設定を「インサツ ケイコク&ゾッコウ」にした場合、以下に注意してください。

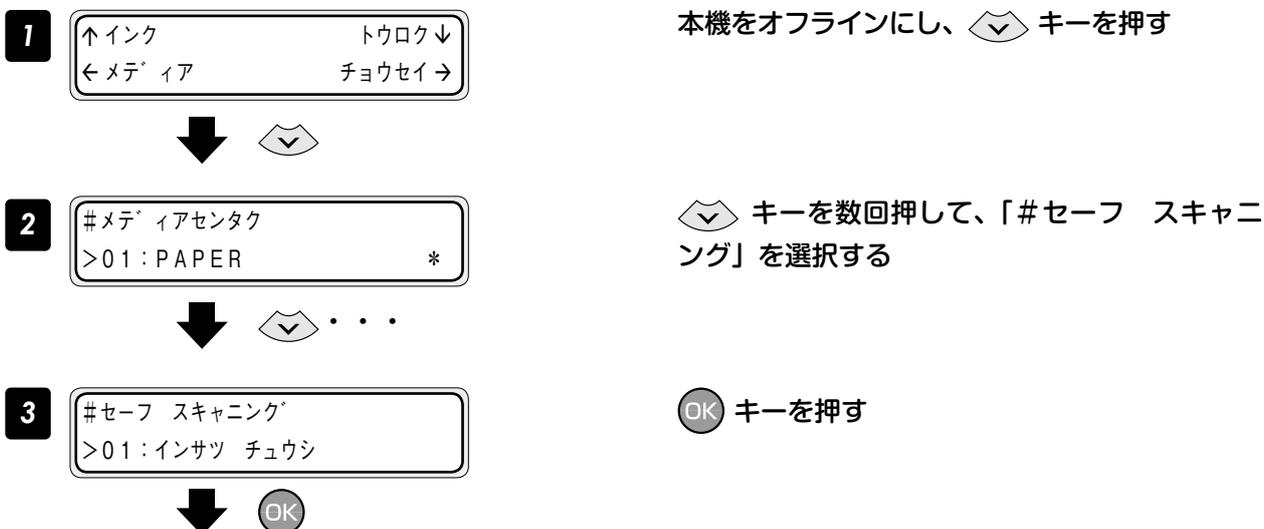
◆ プリントヘッドとメディアの接触を検知したことを知らせる警告が出た状態で、長時間印刷を行うと、プリントヘッドにダメージを与えることがあります。

セーフ スキャンングの設定を「インサツ テイシ」または「インサツ ケイコク&テイシ」にした場合、以下に注意してください。

◆ 印刷が一旦停止した後で印刷を再開する場合は、メディアのしわを取り除いてから再開するようにしてください。

◆ 印刷を再開した後、印刷抜けが発生した場合は、プリントポーズしてクリーニングを実施してください。

ここでは、メディア番号1に登録されているメディアのセーフ スキャンングを「インサツ チュウシ」から「インサツ ケイコク&テイシ」に変更する方法を例にして説明します。



4 #セーフ スキャンング*
*01:インサツ チュウシ

▽ キーを押す



5 #セーフ スキャンング*
*01:インサツ ケイコク&テイシ

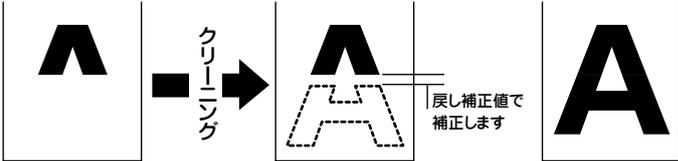
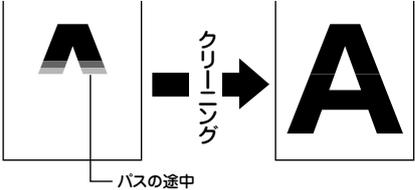
OK キーを押す



#セーフ スキャンング*
>01:インサツ ケイコク&テイシ

◆オートクリーニングのタイミングを変えたい

プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンターが自動で実行するクリーニングのモードを、登録されているメディアごとに変更することができます。メディアの特性に合わせてモードを選択してください。

| | |
|------------------|---|
| インサツマエ&インサツゴ | 過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷終了時に、オートクリーニングを実行しません。 |
| インサツマエ&インサツトチュウ1 | <p>過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷の途中で、クリーニングを実行します。このモードでは、プリンターは、実行中のバンドの印刷を完了させてからクリーニングを行います。塩ビのような、ヒーター温度の影響を受けやすいメディアを使用する場合に選択してください。クリーニング後、プリンターは、中断していたジョブの残りの印刷を開始します。メディアによっては、クリーニング前と後の印刷のつなぎ目が合いにくい場合があります。その場合には、インサツマエ&インサツゴまたはインサツマエ&インサツトチュウ2をご使用ください。</p>  |
| インサツマエ&インサツトチュウ2 | <p>過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷の途中で、クリーニングを実行します。このモードでは、プリンターは、実行中のバンドの印刷を中断してクリーニングを行います。ターポリンのような、ヒーター温度の影響を受けにくいメディアを使用する場合に選択してください。クリーニング後、プリンターは、中断していたジョブの残りの印刷を開始します。インサツマエ&インサツトチュウ1よりもクリーニング前と後の印刷のつなぎ目が合いやすくなります。しかしながら、つなぎ目前後で色合いが変わる可能性があります。</p>  |
| オフ | <p>オートクリーニングを実行しません。次のような場合に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数データを連続印刷する際に、途中でオートクリーニングが入ると、データごとの印刷結果が著しく変化するようなメディアを使用する場合。 <p>オフを選択した場合は、お客様の判断により、適時、手動でのクリーニングを実行してください。</p> |
| セツヤク | 過去の印刷履歴に基づいて、印刷開始時もしくは印刷終了時に、オートクリーニングを実行します。※「セツヤク」を選択した場合、「インサツマエ&インサツゴ」の設定時よりも、オートクリーニングを実行する周期が長くなります。 |

⚠ 注意

オートクリーニングの設定を「オフ」または「セツヤク」にした場合、以下に注意してください。

- ◆ クリーニングを長時間実施しないと、印刷抜けが起こる場合があります。
- ◆ 印刷抜けを防ぐために、「クリーニングヲ ジッシ シテクダサイ」のパネル表示にしたがって、手動でのクリーニングを実行してください。

ここでは、メディア番号 1 に登録されているメディアのクリーニングを「インサツマエ&インサツチュウ 1」にする方法を例にして説明します。

1 ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

本機をオフラインにし、 キーを押す



2 #メディアセンタク
>01:PAPER *

 キーを数回押して、「#クリーニングモード」を選択する



3 #クリーニングモード
>01:インサツマエ&インサツコ

 キーを押す



4 #クリーニングモード
*01:インサツマエ&インサツコ

 キーを押す



5 #クリーニングモード
*01:インサツマエ&インサツチュウ 1

 キーを押す



#クリーニングモード
>01:インサツマエ&インサツチュウ 1

◆登録されているメディアをコピーしたい

ここでは、メディア番号 13 番に登録されているパラメーターをメディア番号 20 番にコピーする方法を一例にして説明します。

1 ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

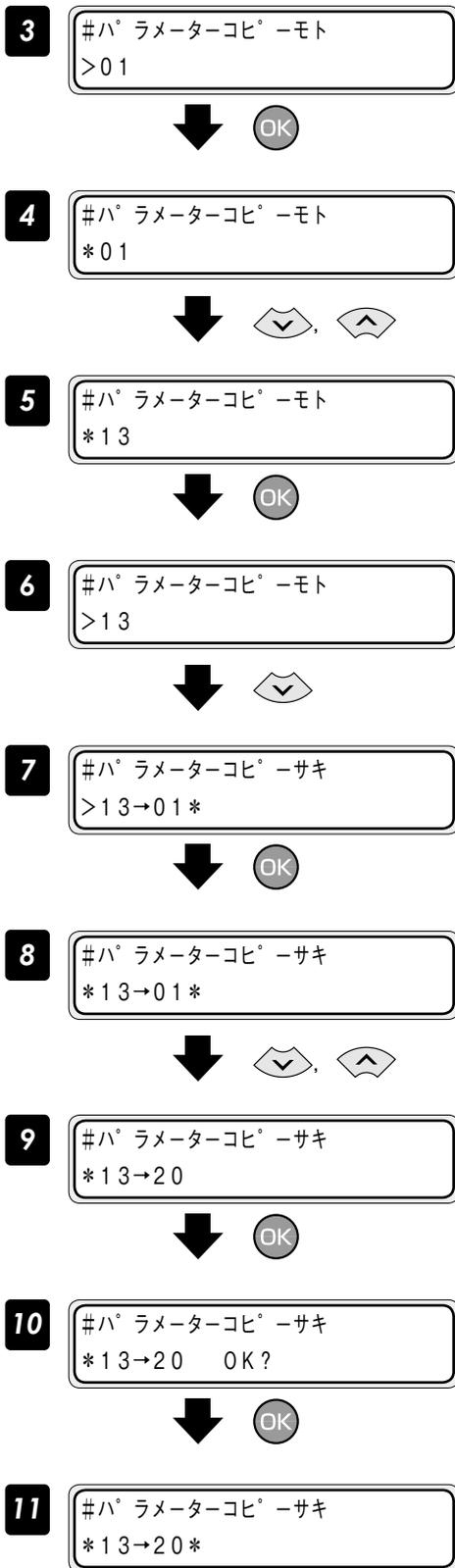
本機をオフラインにして、 キーを押す



2 #メディアセンタク
>01:PAPER *

 キーを数回押して、「#パラメーターコピーモード」を選択する





キーを押す

, キーを押してコピー元を選択する
 コピー元のメディアを選択します。コピー元番号は、登録されている番号のみが表示されます。

キーを押すと、**3** に戻ります。

キーを押す

キーを押すと、**3** に戻ります。

キーを押す

キーを押す

, キーを押してコピー先を選択する

(コピー先番号は、01～20まで表示します)

コピー先が登録済みの場合、番号の後に*が表示されます。

キーを押す

キーを押す

コピー完了

◆メディアをセットし直さずに、登録したメディアの種類を切り替えたい

 登録したメディアの設定内容も変更されます。

1 ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

本機をオフラインにして、 キーを押す



2 ロール (XXXXXX)
YYYYmm

 キーを数回押して、「#メディアシュルイ」を選択する



3 #メディアシュルイ
>01:PAPER

 キーを押す



4 #メディアシュルイ
*01:PAPER

 キーを数回押して、設定したいメディアを選択する



5 #メディアシュルイ
*04:Banner

 キーを押す



6 #メディアシュルイ
>04:Banner

◆メディアを送りたい／戻したい

■ オンライン状態（アイドルモード）でメディアを送る／戻す

1 プリントキマス
ロール: 1625/PAPER

 キーまたは  キーを押し続ける



メディアを送りたい場合は、 キーを押します。
メディアを戻したい場合は、 キーを押します。
(シートメディアを使用の場合は、排紙されます。)

2

 キーを押した場合

フィード^{*} チュウ

 キーを押した場合

バックフィード^{*} チュウ



 または  から手を離す

フ^{*} リントデ^{*} キマス
ロール: 1625/PAPER

 キーまたは  キーから手を離す

メディアの送り/戻しが止まり、オンライン状態（アイドルモード）表示に戻ります。

■ オフラインにしてメディアを送る/戻す

1

↑インク トウロク↓
←メデ^{*} ィア チョウセイ→



M E N U

2

↑バ^{*} ックフィード^{*} フィード^{*} ↓
←ク^{*} リーニング^{*} サービ^{*} ス→



 または  を押し続ける

本機をオフラインにして、**M E N U** キーを押す

 キーまたは  キーを押し続ける

メディアを送りたい場合は、 キーを押します。
メディアを戻したい場合は、 キーを押します。
(シートメディアを使用の場合は、排紙されます。)

3

 キーを押した場合

フィード^{*} チュウ

 キーを押した場合

バックフィード^{*} チュウ



 または  から手を離す

 キーまたは  キーから手を離す

メディアの送り/戻しが止まり、オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

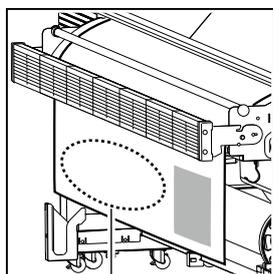
注意

- ◆ 給紙装置は、長いバックフィードには対応していません。長い距離をバックフィードさせる時は、供給側のメディアのたるみ位置が徐々に下降するようにしてください。たるみが下がり過ぎるとエラーが発生しますので注意してください。また、巻き取り装置はバックフィードに対応していません。巻き取り装置を使用の際は、バックフィードを行わないでください。

◆印刷の書き出し位置を移動させたい

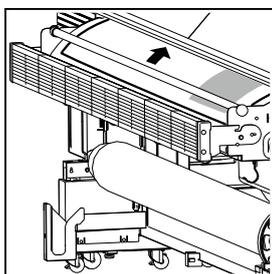
一度印刷したメディアを巻き戻し、印刷の開始原点を設定し直して余白部分に印刷することによって、余白部分を有効に活用することができます。

(1回目の印刷)

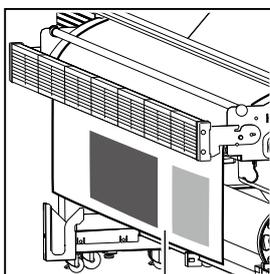


余白部分

(メディアの戻し)



(2回目の印刷)



ベース(印刷の開始原点)に設定

⚠️ 注意

- ◆ この作業はできるだけ短時間で行ってください。短時間で行えなかった場合は、プリントヘッドが乾燥し、吐出不良を起こす可能性があるため、クリーニングを行ってください。

1

バックフィード チュー



メディアを戻す

(37 ページの「◆メディアを送りたい/戻したい」)

⚠️ 注意

- ◆ メディアを戻す際は、印刷済みの画像イメージが十分に乾いた状態で行ってください。乾燥が不十分な状態で本機能を使用すると、1回目の印刷画像イメージが損なわれる場合があります。

2

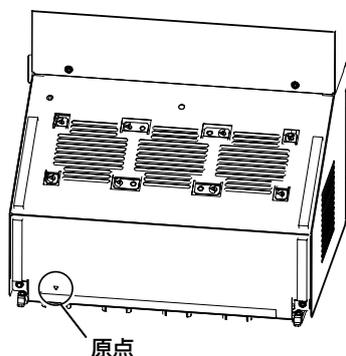
プリントデキマス
ロール: 1625/PAPER



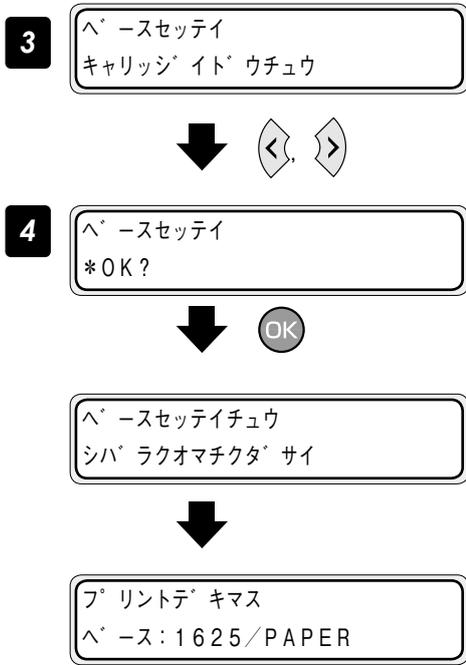
◀ 1.5 秒間押し続ける

◀ キーを 1.5 秒押し続ける

キャリッジが移動し、ベース設定可能状態になります。キャリッジカバー前面左下の「▽マーク」を原点にする位置に合わせてください。



原点



キーを押して、原点に設定したい位置までキャリッジを移動させる

OK キーを押してベース設定を確定する
 キャリッジが戻り、印刷可能状態（オンライン状態（アイドルモード）表示）になります。

設定した原点を解除するには、アイドルモードで キーを 1.5 秒押し続けます。
 または、加圧操作ノブを上げると解除します。
 解除すると、「ベース」から「ロール」表示に戻ります。

<解除した場合の表示>

◆ロールメディアを極力最後まで使いたい

印刷中（オンライン中）にメディア切れを検出した時点でも、メディアの終端付近には余白が残っています。この余白部分にあと少し印刷を行うことができます。

終端付近の画質の劣化が許容出来る場合にお使いください。
 終端付近への印刷の際は、給紙側のテンションバーを外す必要があります。テンションバーを外すことで送り補正値が適切でなくなり、最適な画質が得られない場合があります。

事前にロールエンド検出を「モード2」に設定します。

| | |
|------|---|
| モード1 | メディア切れを検出すると印刷を中止します。 |
| モード2 | メディア切れのエラーを検出した場合、印刷が一時中断されます。 操作パネルで「続行」「中止」を選択することができます。 |



本機をオフラインにして、 キーを押す

キーを数回押して、「#ロールエンドケンシュツ」を選択する

OK キーを押す

4 #ロールエンドケンシュツ
*01:モード1 *

☑ キーを押す



5 #ロールエンドケンシュツ
*01:モード2 *

OK キーを押す

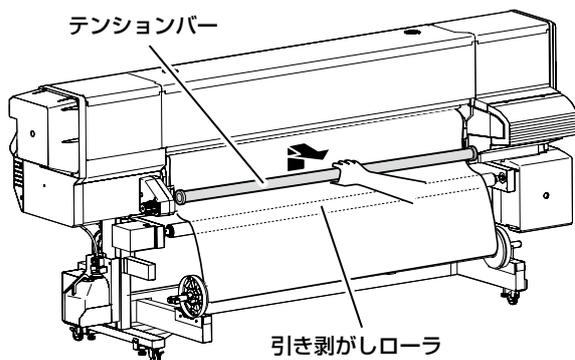


6 #ロールエンドケンシュツ
>01:モード2 *

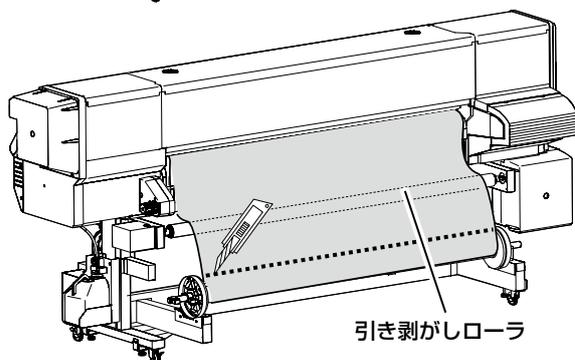
印刷中（オンライン中）にメディア切れを検出すると、印刷が一時中断され、次の画面が表示されます。

ロールエンドケンシュツシマシタ
ゾッコウ/チュウシ

<印刷を続行する場合の手順>



1. テンションバーを取り外します。



2. カッターを使ってメディアの終端を紙管から切り離します。

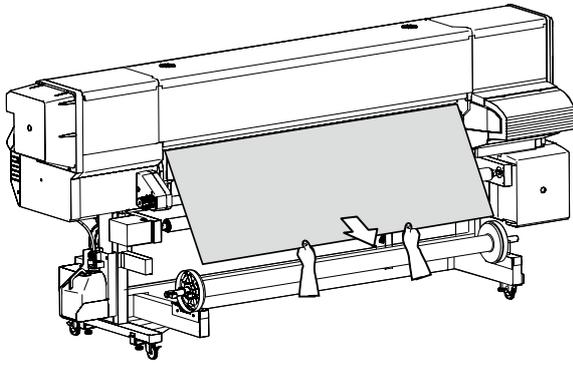
ロールエンドケンシュツシマシタ
ゾッコウ/チュウシ

OK キーを押す



プリントチュウ
ロール: 1626/PAPER

印刷が再開します。



メディアを手で引っ張りながら印刷すると画質の劣化を低減できることがあります。

<印刷を中断または中止する場合の手順>

ロールエンドリケンシュツシマシタ
ゾッコウ/チュウシ



CANCEL キーを押す

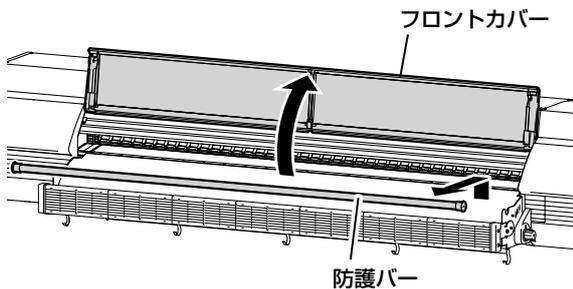
グリップリカージョシテ
メディアリセットシテクタサイ

CANCEL キーを押す

印刷が中断され、以下のメッセージが表示されます。新しいメディアをセットし直してください。

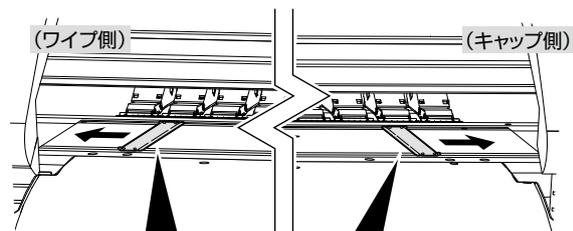
◆シート（カット）メディアに印刷したい

1



防護バーを取り外し、フロントカバーを開ける

2



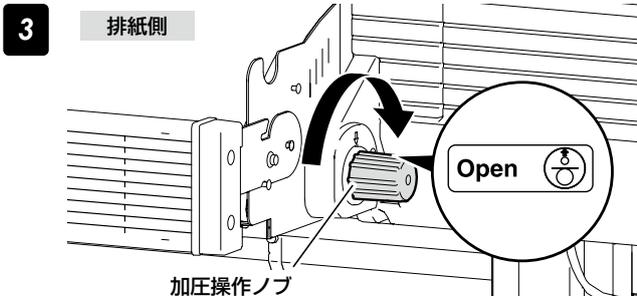
メディアエッジガードを両サイドに移動させておく

メディアエッジガードがメディアの下にならないようによけておきます。メディアエッジガードの手前側を押さえて移動させてください。

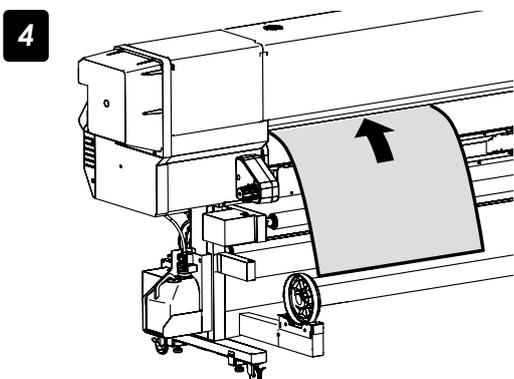


⚠注意

- ◆ メディアエッジガードは、必ず手前側を押えて移動させてください。
プレートのエッジ部分を強く押えて指を滑らせると怪我をする恐れがあります。

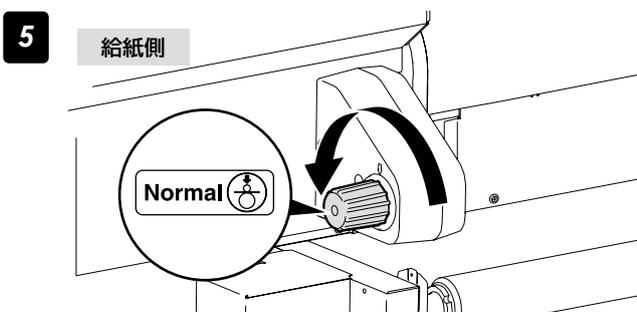


加圧操作ノブを回して、「Open」に合わせる



メディアの先端を給紙部に挿入する

給紙センサーがかくれるように、シートメディアを給紙部に差し込みます。

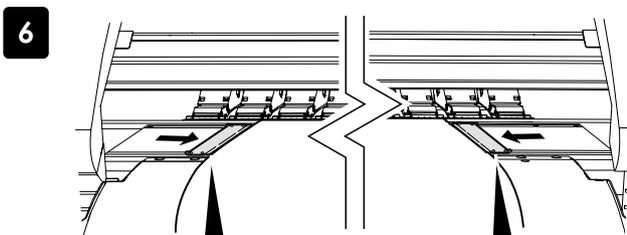


加圧操作ノブを回して、「Normal」に合わせる



再度確認してください

- ◆ プラテン上のメディアに浮きやシワがないか確認してください。



メディアエッジガードをセットする

- ① メディアエッジガードの手前側を押さえながら移動させます。
- ② メディア端とメディアエッジガードの切り欠きを合わせます。

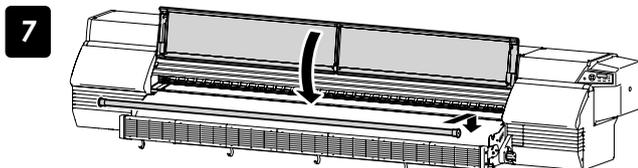
メディアエッジガードがメディアの下に入り込んでいたり、厚いメディアを無理に差し込んで引っかかったりしていないか確認します。

⚠注意

- ◆ メディアエッジガードを使用しないと、メディアジャムが起こる場合があります。
- ◆ メディアエッジガードは、必ず手前側を押えて移動させてください。
プレートのエッジ部分を強く押えて指を滑らせると怪我をする恐れがあります。

① 手前側を押さえ移動させます。

② メディア端と切り欠きを合わせます。



7 フロントカバーを開けて、防護バーを取り付ける

8 エッジガードのカクニン
*OK?

OK キーを押す

9 メディアセンタクシテクタ'サイ
メディアセンタク:ロール
メディアセンタク:シート

「シート」を選択し、OK キーを押す

10 シュルイロセンタクシテクタ'サイ
シュルイセンタク:PAPER

メディアの種類を選択し、OK キーを押す

▲ キー, ▼ キーで登録されているメディアの種類を選択します。

ここでは「ターポリン」を例にして説明します。

シュルイロセンタクシテクタ'サイ
シュルイセンタク:Banner

11 メディアセット
*OK?

OK キーを押す

メディアセットチュウ
シバラクオマチクタ'サイ

◆印刷が始まる直前に前の余白を調節したい

印刷を開始する際のプリヒート中にメディアを送り/戻しすることで、前の印刷結果との余白を調節することができます。

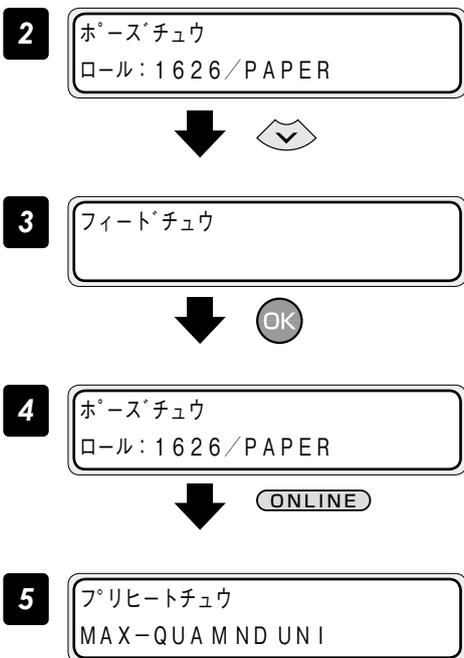


印刷（スキャン）が始まってしまうと、この機能は動作しません。

1 プリヒートチュウ
MAX-QUAMNDUNI

印刷を開始する際のプリヒート中に ONLINE キーを押す

ONLINE



プリントポーズモードになったら、 キーを押し続けます

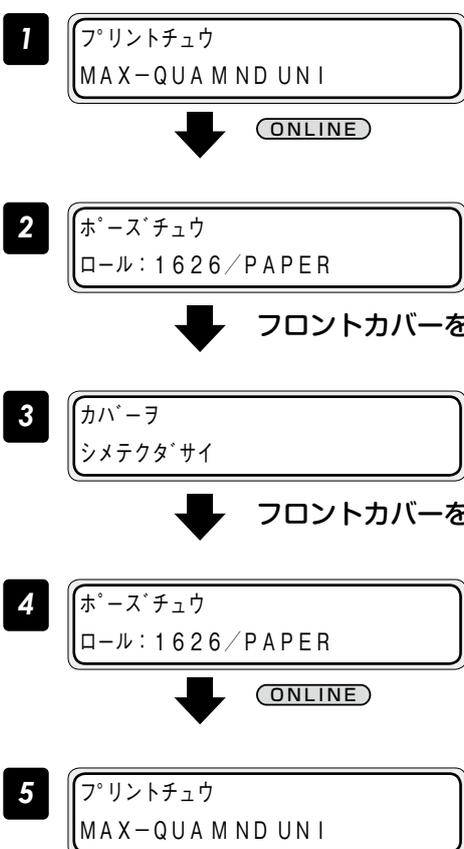
キーを離すとメディアの送りが止まります

ONLINE キーを押すと印刷を再開します

キーを押すことによってメディアを戻すこともできる。

◆印刷中にエッジガードをセットし直したい

印刷中（オンライン中）にエッジガードが外れてしまったり、搬送経路中にゴミが付着していた場合、一旦プリントポーズモードにすると、フロントカバーを開閉することができます。



印刷中に**ONLINE** キーを押す

プリントポーズモードになったら、フロントカバーを開けます

カバーを閉めるとプリントポーズモードの表示に戻ります

ONLINE キーを押すと印刷を再開します

◆印刷中にメディアの皺を少し直したい

印刷中（オンライン中）にメディアが皺になってしまった場合、一旦プリントポーズモードにすると、グリッ
プを解除することができます。



グリッぷを解除するとメディアの皺を低減することができますが、
メディアの位置はズれてしまい、画質が劣化する場合があります。

1

プリントチュウ
MAX-QUAMNDUNI



ONLINE

印刷中に **ONLINE** キーを押す

2

ホースチュウ
ロール：1626/PAPER



グリッぷを解除する

プリントポーズモードになったら、グリッぷを解
除します

⚠注意

◆グリッぷを解除した際、手で押さえるなどしてメディア
がズレないようにしてください。

3

グリッぷシテクタサイ



グリッぷする

グリッぷするとプリントポーズモードの表示に戻りま
す

4

ホースチュウ
ロール：1626/PAPER



ONLINE

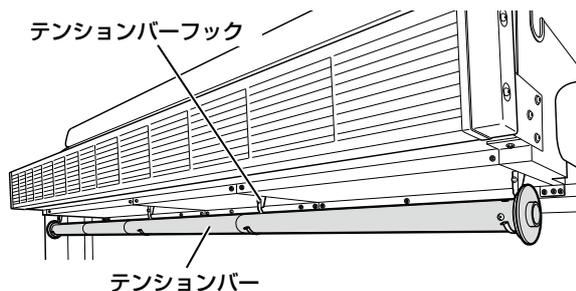
ONLINE キーを押すと印刷を再開します

5

プリントチュウ
MAX-QUAMNDUNI

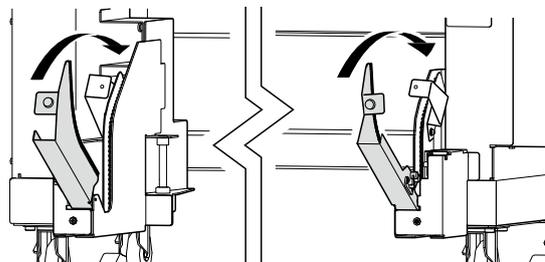
◆たるみ巻き時のスキューを防止したい

1



テンションバーをテンションバーフックに掛け
ておく

2



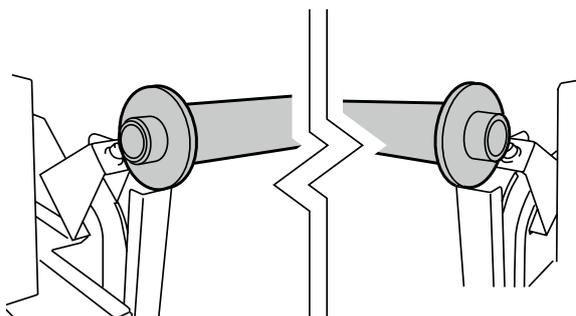
テンションバーガイドのカバーを閉じる
 カバーを閉じ、ツマミネジを締めてカバーを固定します。

3

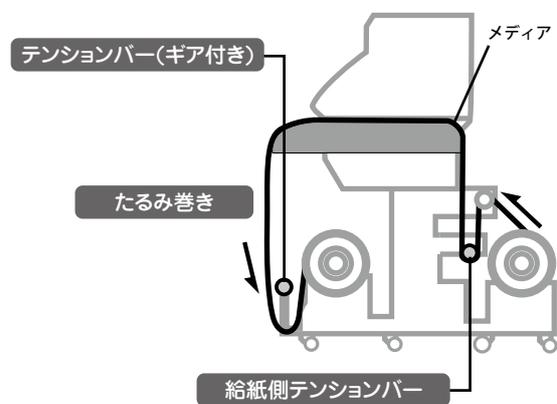
メディアをセットする

「基本操作ガイド」の「◆メディアをたるみ巻きで巻き取る場合」を参照してください。

4



閉じたテンションバーガイドの上にテンションバー（ギア付き）をのせる
 テンションバー（ギア付き）が落下しないように注意してのせます。



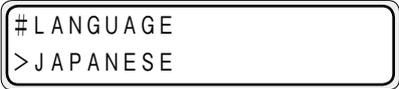
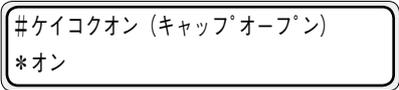
5

印刷する

プリンターの設定をする

◆警告音を鳴らさないようにしたい

日常メンテナンスやヘッド高さ調整でプリントヘッドがキャップから外れた状態や、印刷中のメディアジャムエラー等でプリントヘッドがキャップできない状態時に警告音を消すことができます。

- 
↓ MENU ×2
本機をオフラインにして、MENU キーを2回押す
 - 
↓  キーを押す
 - 
↓  ...
 キーを数回押して、「#ケイコクオン (キャップオープン)」を選択する
 - 
↓ OK キーを押す
 - 
↓  キーを押す
 - 
↓ OK キーを押す
- 

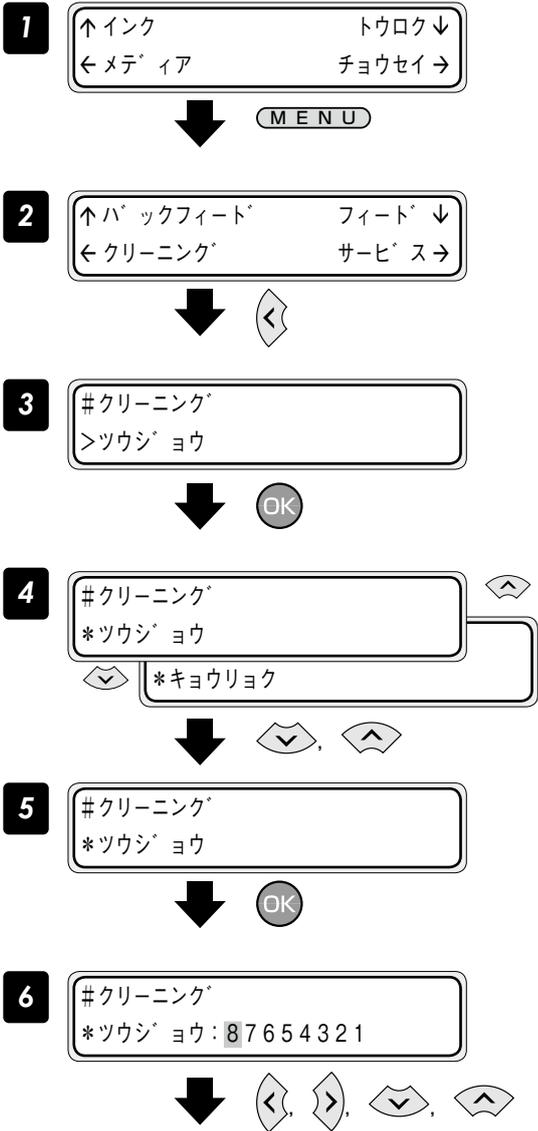
◆システム F/W をアップデートする

本機の機能向上のため、システム F/W のアップデートをすることが可能です。システム F/W のアップデートをするときは、システム F/W に添付の資料にしたがってアップデートを行ってください。

クリーニングオプション

◆プリントヘッドを選んでクリーニングしたい

 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を行っている場合は、個別にヘッドを選択してのクリーニングはできません。



本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す

← キーを押す

OK キーを押す

↑, ↓ キーでクリーニング選択オプションを選ぶ

OK キーを押す

クリーニングするプリントヘッドを選ぶ

- ① ←, → キーでプリントヘッド番号を選択します。
- ② ↑, ↓ キーで番号を表示または非表示にします。クリーニングしたいプリントヘッド番号を表示させてください。

インクの色とヘッド番号は、下表のように対応しています。

| Lg | M | Lc | K | Gy | C | Lm | Y |
|----|---|----|---|----|---|----|---|
| 8 | 7 | 6 | 5 | 7 | 3 | 2 | 1 |

7 #クリーニング
*ツウシ ヨウ: 8 5



8 #クリーニング 8 5
*ホ トルカクニ OK?



#クリーニング 8 5
*シ ッコウチュウ 12

10 秒おきに数字がダウンする

9 #クリーニング
>ツウシ ヨウ



↑ハ ックフィート フィート ↓
←クリーニング サービス→

OK キーを押す

左の例は、8 番プリントヘッドと 5 番プリントヘッドをクリーニングします。

OK キーを押す

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。

クリーニング開始

クリーニング動作は数分かかります。

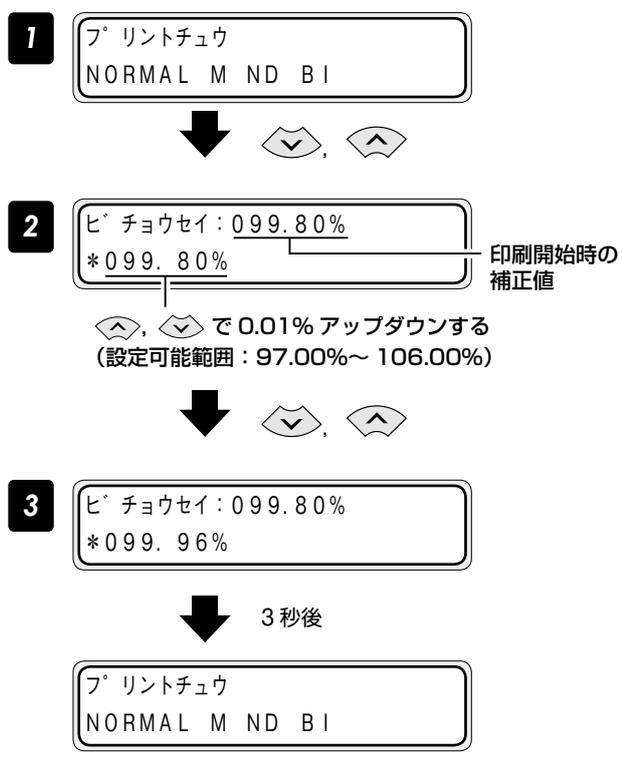
クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は 10 秒おきにカウントダウンします。

← キーを押す

オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

送り補正值の管理

◆印刷中に送り補正值を変更する



「プリントチュウ」表示中に、▼ キーまたは ▲ キーを押す

▲, ▼ キーで補正值を変更する

補正值を変更した時点で印刷に反映されます。
印刷開始時の補正值の表示は、印刷終了時まで変わりません。ただし、クリーニングモードを「インサツマエ&インサツチュウ1」に設定している場合は、クリーニング後に表示が変わります。

変更した値は登録され、以降も保持されます。
3秒間キー操作がない場合、元の表示に戻ります。

印刷条件について

本機には、

- ・ 5 種類の印刷モード設定
- ・ 2 種類のスマートパス設定

のマトリックス構成に加え、

- ・ 2 種類の濃度設定
- ・ 2 種類のキャリッジ速度

があります。メディアの種類や生産性、画質に合わせてお選びください。

通常は、印刷モード「ヒョウジュン」、濃度「ツウジョウ」、キャリッジ速度「ヒョウジュン」を推奨

◆他のモード、設定は生産性や画質を重視する場合に使いください。

印刷モードを変更した場合は…

◆送り補正値を再調整してください (P.77 ページ)

「インサツモード」設定、「スマートパス」設定、「ノウド」設定は、RIP からのみ設定することができます。

◆ 「インサツモード」設定

印刷解像度を設定します。

解像度が低いほど、高い生産性を発揮することができます。

解像度が高いほど、粒状感のない高精細な画質を得ることができます。

| インサツモード設定 | 印刷解像度 | 特徴 |
|----------------|-----------------------|---|
| サイコウソク (最高速) | 360dpi x 360dpi x DDP | 最速モードです。生産性を重視する場合にお使いください。 スマートパスの選択が可能となります。 |
| コウソク (高速) | 360dpi x 540dpi x DDP | 速度と画質のバランス型のモードです。 |
| ヒョウジュン (標準) | 540dpi x 540dpi x DDP | 標準モードです。通常はこのモードをお使いください。 |
| コウガシツ (高画質) | 720dpi x 720dpi | 速度より、画質を重視するモードです。 |
| サイコウガシツ (最最高速) | 900dpi x 900dpi | もっとも高精細な画質を得られるモードです。 |

⚠ 注意

- ◆ 推奨のインサツモード設定は「ヒョウジュン」です。他のモードは生産性や画質などのお客様が重視する目的に応じて使い分けてください。

◆「スマートパス」設定

印刷画質（ムラなど）を改善するための補正の強度を設定します。弱、中の順に補正強度（改善効果）が増します。

| スマートパス設定 | 特徴 |
|----------|--|
| ジャク（弱） | 画質よりも生産性を優先します。画質改善効果は弱く、メディアや印刷色により、ムラ・バンディング・カスレなどが見える場合があります。印刷モード「サイコウソク（最高速）」でのみ、スマートパス設定「ジャク（弱）」を選択可能です。 |
| チュウ（中） | 高い画質改善効果を発揮します。印刷モード「サイコウソク（最高速）」以外の印刷モードのスマートパス設定は「チュウ（中）」に固定しています。 |

⚠注意

- ◆「ジャク」設定は、「チュウ」設定に比べて印刷速度が約 50% 向上します。

◆「ノウド」設定

印刷濃度を「ツウジョウ（通常）」と「コウノウド（高濃度）」の 2 種類から選択できます。

各印刷モードについて、「ツウジョウ」と「コウノウド」の最大濃度は「ツウジョウ」を 1.0 としたときに以下のような関係になります。

| インサツモード設定 | ノウド設定 | |
|-----------|-------|----------|
| | ツウジョウ | コウノウド |
| サイコウソク | 1.0 | 1.0 (*1) |
| コウソク | 1.0 | 2.0 |
| ヒョウジュン | 1.0 | 1.9 |
| コウガシツ | 1.0 | 2.0 |
| サイコウガシツ | 1.0 | 1.9 |

*1 インサツモードが「サイコウソク」の場合は、「コウノウド」を設定しても濃度は変わりません。

⚠注意

- ◆「コウノウド」を選択しても、「ツウジョウ」と比べて印刷速度は低下しません。
- ◆「コウノウド」はインク量が多いため、にじみやインク乾燥不良の原因となることがあります。その場合はより遅い印刷速度で印刷してください。



- ◇ 印刷速度は、以下3種類の設定の組み合わせにより、およそ次の表のようになります。
- ・インサツモード
 - ・スマートパス
 - ・キャリッジソクド
- ◇ 使用するメディア幅などの条件によっては本速度より低下する場合があります。

印刷速度 (*1)

| インサツモード設定 | キャリッジ速度設定 | | | |
|-----------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| | ヒョウジュン | | テイソク | |
| | スマートパス設定 | | スマートパス設定 | |
| | ジャク | チュウ | ジャク | チュウ |
| サイコウソク | 56.6 m ² /h | 37.7 m ² /h | 35.4 m ² /h | 23.6 m ² /h |
| コウソク | 設定できません | 25.1 m ² /h | 設定できません | 15.7 m ² /h |
| ヒョウジュン | 設定できません | 17.6 m ² /h | 設定できません | 10.5 m ² /h |
| コウガシツ | 設定できません | 9.8 m ² /h | 設定できません | 5.9 m ² /h |
| サイコウガシツ | 設定できません | 6.0 m ² /h | 設定できません | 3.8 m ² /h |

*1 印刷速度の数値は、2642mm (104 インチ) 幅のロールに全幅でプリントした場合の速度を記載しています。

こんな症状が出たら

ここでは、お客様が本機を使って、より良い画質を得るためのヒントを説明します。印刷物の症状に従って対処してください。

1 症状に対して複数の対処方法が記載してある場合、効果が大きいと予想される方法から順に記載しています。1 番目から優先に行い、改善効果を確認する事を推奨します。(記載してある全ての対処方法を実行しなければ改善しないという事ではありません。)

◆印刷が薄い

| 原因 | 対処方法 |
|------------------|--|
| ● ノウドの設定が合っていない | 電飾メディアなどの高濃度印刷を必要とする場合には、ノウドを「コウノウド」に設定してください。(☞ 53 ページ) |
| ● 使用環境が本機の仕様外である | 室温を 15℃以上 (推奨温度:20 ~ 25℃) にあげ、本機を十分に暖気してください。 |
| ● メディアの選択が合っていない | メディアの選択を確認してください。(☞ 基本操作ガイド 50 ページ) |

◆印刷開始時に印刷抜けが発生する

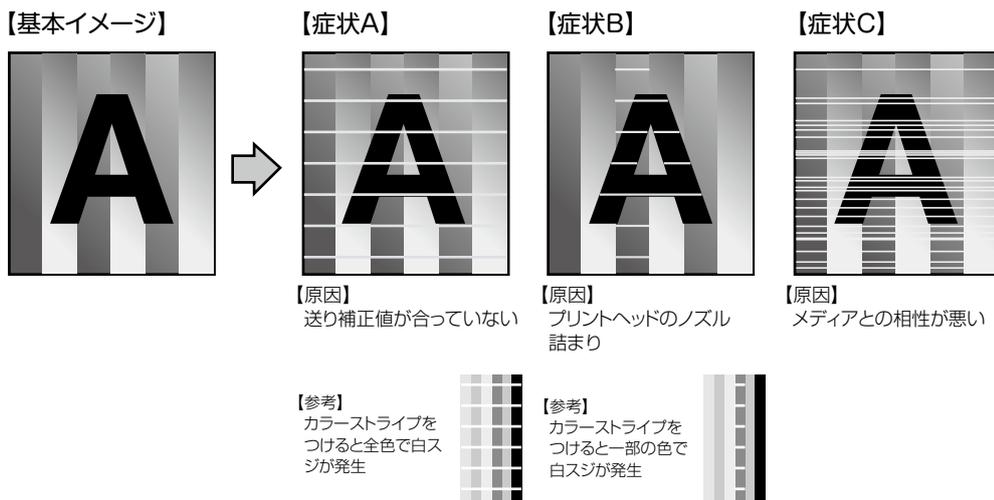
| 原因 | 対処方法 |
|--------------------------|--|
| ● 使用温湿度範囲外 | 使用温湿度範囲内で使用してください。(☞基本操作ガイド 17 ページ) |
| ● ノズル面が通過する経路上にゴミが付着している | プラテン上、メディアエッジガード、スピットケース、キャッピングユニット、ワイパーブレードの順に確認し、ゴミ・汚れ等を取り除いてください。 メディアのほつれた糸クズがプリントヘッドにこずれて印刷抜けが起こることがあります。糸クズのないメディアに交換してください。 排気ファンフィルターが目詰まりしていないか確認してください。目詰まりしていたら交換してください。(☞基本操作ガイド 74 ページ) |

◆メディアにシワ・カールが発生する

| 原因 | 対処方法 |
|-------------------|---|
| ● 使用温湿度範囲外 | ① 使用温湿度範囲内で使用してください。 ※ メディアによっては、使用温湿度範囲内でもシワが発生します。 ② 実績のあるメディアを使用してください。 |
| ● メディアが環境に馴染んでいない | メディアの保管環境とプリンターの使用環境が異なる場合は十分馴染ませてください。 ※ 馴染ませる時間は、メディアの種類や保管環境により異なります。 |
| ● メディアのセット不良 | 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが垂直にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 |
| ● ヒーターの熱によるシワ | ① ヒーター加熱中にシワが入る場合、ヒーター加熱を事前に行ってからメディアをセットしてください。 ② ヒーター温度を変更してください。3ヒーターとも一律に5℃刻みで上下させてください。 ^(注1) ③ 実績のあるメディアを使用してください。 |
| ● メディアのカール | ① メディアの縦方向(X方向)にカールが発生するメディアは使用しないでください。 ② メディアの左右端(Y方向)のカールが発生し、メディアエッジガードと吸着ファンで抑えきれないメディアは使用しないでください。 ③ 実績のあるメディアを使用してください。 |

(注1) 送り補正值の再調整が必要です。

◆印刷物に白スジが入る



| 原因 | 対処方法 |
|--|---|
| <p>【症状A】</p> <p>● 送り補正値が合っていない</p> | <p>送り補正値を合わせてください。 ※巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、補正値が異なります。</p> |
| <p>【症状A】</p> <p>● メディア送りの精度が悪い / 安定しない</p> | <p>① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 <p>② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注1)</p> <p>③ スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注1),(注2),(注3)</p> <p>④ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2)</p> |
| <p>【症状B】</p> <p>● プrintヘッドのノズル詰まり</p> | <p>① ノズルプリントを印刷し、抜けノズルをノズルマップで入力してください。 (☞基本操作ガイド 101 ページ)</p> <p>② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。</p> <p>③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。</p> <p>④ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。</p> <p>⑤ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング (ツウジョウ) も忘れずに行ってください。</p> <p>⑥ シートマウントクリーニング (☞基本操作ガイド 105 ページ) で、プリントヘッド面を清掃してください。</p> <p>◇ カラーストライブをつけて印刷する事で印刷抜けが発生しにくくなります。 (☞ 29 ページ)</p> |

【症状C】

● メディアとの相性が悪い
(ドットが広がりにくいメディア)

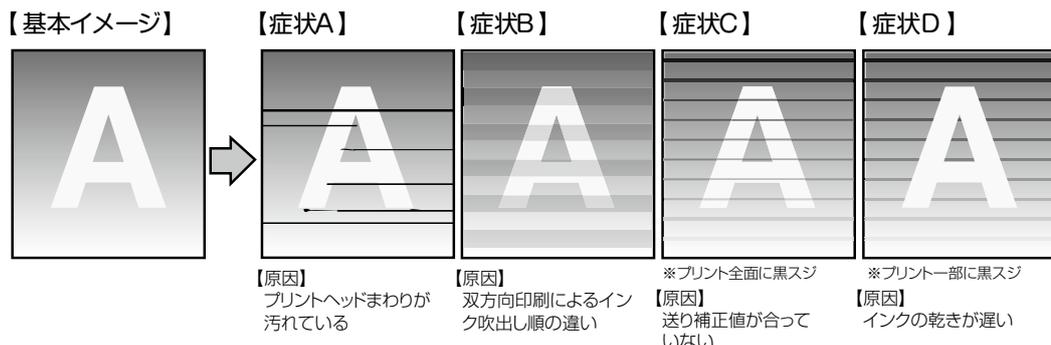
- ① ヒーター温度を下げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで下げてください。
(注1)
※ 印刷する前にヒーター温度が変更した温度まで下がっていることを確認してください。
※ メディアによってはヒーター温度を上げて効果がある場合があります。
 - ② スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注1),(注2),(注3)
 - ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2)
 - ④ 実績のあるメディアで印刷してください。
-

(注1) 送り補正値の再調整が必要です。

(注2) 印刷速度は変わります。

(注3) スマートパスを変更できるのは、印刷モードを最高速に設定した時のみです。

◆印刷物に黒スジが入る



| 原因 | 対処方法 |
|--|--|
| 【症状A】 ● プリントヘッドのまわりが汚れている | ① プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸くずや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。 ② スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。 ③ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 ④ 日常メンテナンスを行ってください。 ※ ヘッドガード、エッジガードの清掃も忘れずに行ってください。 ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。 ⑤ シートマウントクリーニング（基本操作ガイド 105 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。 |
| 【症状B】 ● 双方向印刷によるインク吹出し順の違い | ① スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。（注1）、（注2）、（注3） ② より遅い印刷モードに変更してください。（注1）、（注2） ③ 片方向で印刷してください。（注2） ④ 実績のあるメディアで印刷してください。 |
| 【症状C】 ● 送り補正值が合っていない | 送り補正值を合わせてください。 ※ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、補正值が異なります。 |
| 【症状D】 ● メディア送りの精度が悪い / 安定しない | ① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。（注1） ③ スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。（注1）、（注2）、（注3） ④ より遅い印刷モードに変更してください。（注1）、（注2） |

【症状D】

● インクの乾きが遅い
(モタリング (ブリーディング) が発生している)

- ① ヒーター温度を上げてください。3ヒーターとも一律 5℃刻みで上げてください。^(注1)
※ プリントする前にヒーター温度が変更した温度まで上がっていることを確認してください。
 - ② スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。^{(注1), (注2), (注3)}
 - ③ より遅い印刷モードに変更してください。^{(注1), (注2)}
 - ④ 片方向で印刷してください。
 - ⑤ 実績のあるメディアで印刷してください。
 - ⑥ RIP のプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用する。
※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。
-

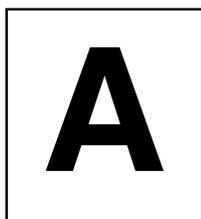
^(注1) 送り補正値の再調整が必要です。

^(注2) 印刷速度は変わります。

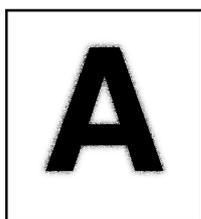
^(注3) スマートパスを変更できるのは、印刷モードを最高速に設定した時のみです。

◆印刷物に汚れが入る

【基本イメージ】

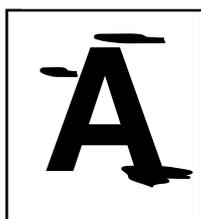


【症状A】



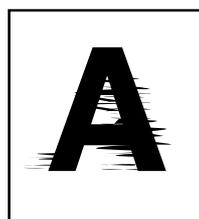
【原因】
インクのしぶき

【症状B】



【原因】
インクのボタ落ち

【症状C】



【原因】
プリントヘッドのこすれ

原因

対処方法

【症状A】

- インクのしぶき

- ① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。
- ② 「ヘッドタカサチョウセイ」の値を確認して、0より大きい場合は0にしてください。(注3)
- ③ 日常メンテナンスを行ってください。
※ ヘッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。
- ④ クリーニング(キョウリョク)を行ってください。
- ⑤ より遅い印刷モードに変更してください。(注1)、(注2)
- ⑥ シートマウントクリーニング(□基本操作ガイド105ページ)で、プリントヘッド面を清掃してください。
- ⑦ 「キャリッジソクド」の設定を「テイソク」にしてください。(注2)、(注3)

【症状B】

- インクのボタ落ち

- ① 使用温湿度範囲内で使用していることを確認してください。
- ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸クズや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。
- ③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。
- ④ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。
- ⑤ 日常メンテナンスを行ってください。
※ ヘッドガード、メディアエッジガード清掃も忘れずに行ってください。
※ クリーニング(ツウジョウ)も忘れずに行ってください。
- ⑥ シートマウントクリーニング(□基本操作ガイド105ページ)で、プリントヘッド面を清掃してください。
- ⑦ 静電気が発生しやすいメディアもあります。その場合、静電気によって、ノズル面に付着しているインク滴がインクのボタ落ちの原因となります。
- ⑧ ターポリン系のメディアでは、ほつれた糸クズがプリントヘッドにこすれてインクが垂れることがあります。

【症状C】

● プリントヘッドのこすれ

- ① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。
 - ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。
 - ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
 - ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。
 - ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
 - ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。
- ② プラテン上やプリントヘッドのノズル面が通過する付近にメディアの糸くずや垂れたインクが固まったものなど、「ごみ」がないか確認し、あれば取り除いてください。
- ③ スピットケースの表面にインクがたい積していたり、ネットが破けている場合は交換してください。
- ④ 日常メンテナンスを行ってください。
 - ※ ヘッドガード、メディアエッジガードの清掃も忘れずに行ってください。
 - ※ クリーニング（ツウジョウ）も忘れずに行ってください。
- ⑤ シートマウントクリーニング（基本操作ガイド 105 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。

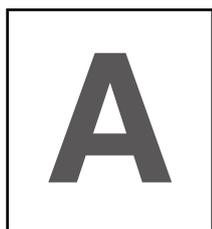
（注1） 送り補正値の再調整が必要です。

（注2） 印刷速度は変わります。

（注3） 往復補正値の再調整が必要です。

◆印刷物にニジミが入る

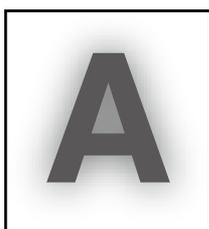
【基本イメージ】



基本イメージ

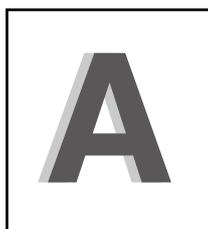


【症状A】



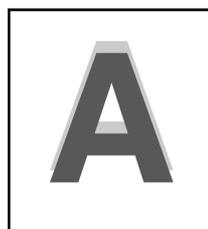
【原因】
インクの乾きが遅い/
インク量が多い

【症状B】



【原因】
プリントヘッド位置のずれ
/プリントヘッド往復位置
のずれ

【症状C】



【原因】
送り補正値が合っていない

| 原因 | 対処方法 |
|--|--|
| <p>【症状A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インクの乾きが遅い / インク量が多い | <ol style="list-style-type: none"> ① ヒーター温度を上げてください。3ヒーターとも一律5℃刻みで上げてください。(注1) ※ プリントする前にヒーター温度が上がっていることを確認してください。 ② スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注1),(注2),(注3) ③ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2) ④ 片方向で印刷してください。 ⑤ ノウドを「コウノウド」に設定している場合は「ツウジョウ」に変更してください。(☐ 53 ページ) ⑥ 今までに実績のあるメディアで印刷してください。 ⑦ RIPのプロファイルでインク量が少ないプロファイルを使用してください。 ※ 使用するインク量が変わるので、色味も変わります。 |
| <p>【症状B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プリントヘッド位置のずれ / プリントヘッド往復位置のずれ | <ol style="list-style-type: none"> ① プリントヘッドの位置調整を行ってください。(☐ 89 ページ) ② プリントヘッドの往復調整を行ってください。(☐ 82 ページ) |
| <p>【症状C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送り補正値が合っていない | <p>送り補正値を合わせてください。 ※ 巻き取り方式がたるみ巻き / テンション巻きの違いにより、補正値が異なります。</p> |
| <p>【症状C】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メディア送りの精度が悪い / 安定しない | <ol style="list-style-type: none"> ① 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。 ・ オペレーションパネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。 ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。 ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。 ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。 ② 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注1) ③ スマートパス強度を現在設定値より強くしてください。(注1),(注2),(注3) ④ より遅い印刷モードに変更してください。(注1),(注2) |

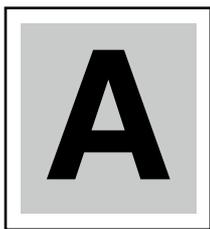
(注1) 送り補正値の再調整が必要です。

(注2) 印刷速度は変わります。

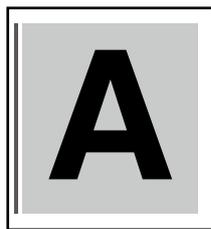
(注3) スマートパスを変更できるのは、印刷モードを最高速に設定した時のみです。

◆印刷物の端に縦スジが入る

【基本イメージ】

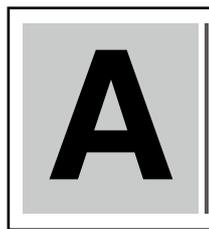


【症状A】



【原因】
プラテン上、メディアの左端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

【症状B】



【原因】
プラテン上、メディアの右端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある。

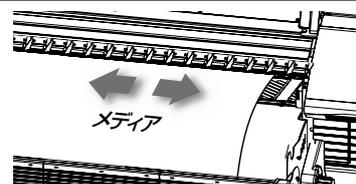
原因

対処方法

【症状A】 【症状B】

- プラテン上、メディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍にある場合、メディアエッジガードとメディアの間から吐出インクの一部を吸い込み、縦スジが発生する場合があります。

プラテン上のメディアの端部とメディアエッジガードの接点が吸着穴近傍に位置しないように、メディアをずらしてください。

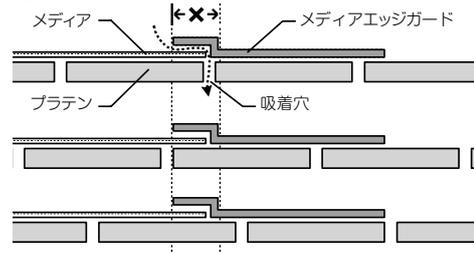


※この範囲内に吸着穴が位置しないようにしてください。

縦スジが発生する場合のメディア位置の一例

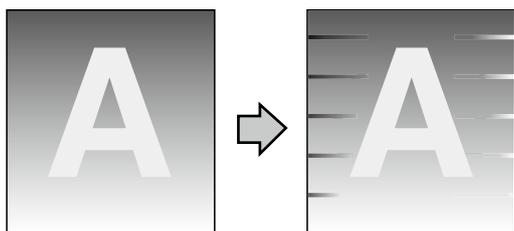
縦スジが発生した場合に、メディアの位置をずらす例 (1)

縦スジが発生した場合に、メディアの位置をずらす例 (2)



◆印刷物の左右で異なるスジが入る

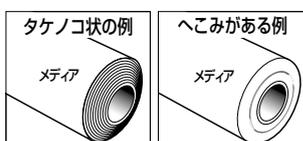
【基本イメージ】



【原因】
メディアの送りがスキューしている

| 原因 | 対処方法 |
|----|------|
|----|------|

● メディアの送りがスキューしている

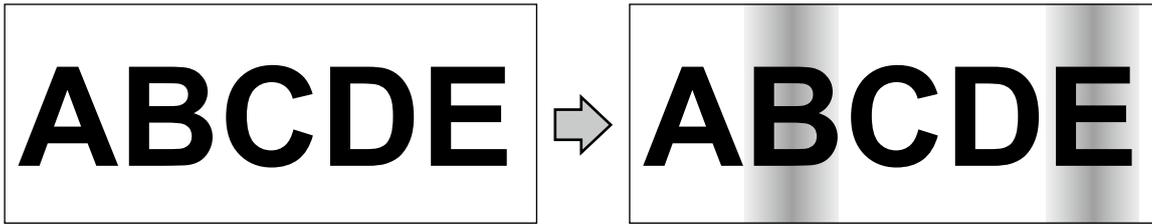


- ① タケノコ状、へこみがないか、ロール仕立てを確認し、ロール仕立てが悪ければ、仕立ての良いロールと交換してください。
- ② 以下のような状態で、メディアが適切にセットされていることを確認してください。
 - ・ プリンター本体 / フランジに対してメディアが平行にセットされているか、確認する。
 - ・ 操作パネルの「メディア種類」が正しく選択されているか、確認する。
 - ・ 給紙側テンションバーの長さが適切か、セット位置がメディア中央になっているか、確認する。
 - ・ メディアに適した巻き取り方式で巻き取られているか、確認する。
 - ・ メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照してください。
- ③ 巻き取り側で巻きムラが発生していないか確認し、メディアの再セットと巻き取り装置への再セットを実施してください。
- ④ 加圧操作ノブで加圧力を変えてください。(注1)
- ⑤ テンションバーの長さを変えてください。(注1)
- ⑥ 実績のあるメディアを使用してください

(注1) 送り補正值の再調整が必要です。

◆印刷物に縦縞が入る

【基本イメージ】



【原因】

- ・使用しているメディアに対する送り補正値が適切でない。
- ・メディアにシワやカールが発生している。

| 原因 | 対処方法 |
|------------------------------|---|
| ● 使用しているメディアに対する送り補正値が適切でない。 | ① 送り補正を±0.3%の範囲で微調整することで改善される場合があります。 ・ ①を実施しても改善されない場合は、以下を実施してください。 ② 印刷モードを変更してください。(注1)、(注2)。 |
| ● メディアにシワやカールが発生している。 | メディアにシワ・カールが発生している場合は、「メディアにシワ・カールが発生する」の項目を参照して、適切な対応をしてください。 |

(注1) 送り補正値の再調整が必要です。

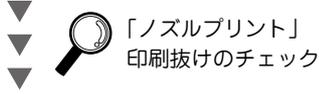
(注2) 印刷速度は変わります。

印刷抜け（ノズル詰まり）を回復させる

日常メンテナンスを実施し、「ノズルマップ」を設定した後も印刷抜けが発生する場合は、以下の作業を実施してください。

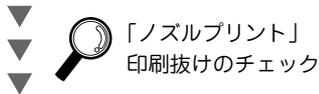
強力クリーニング

ツウジョウ（通常）クリーニングでも印刷抜けが回復しない場合に実施します。



フィルキャップ

キャップ内にインクを充填してプリントヘッド（ノズル面）をインクで浸し、ノズル詰まりを解消させるために実施します。実施後、1～2時間プリンターを放置します。



シートマウントクリーニングでのクリーニング

シートマウントクリーニング（基本操作ガイド 105 ページ）で、プリントヘッド面を清掃してください。（通常は、月1回を目安に実施します。）

◆強力クリーニング

1 ↑インク トウロク↓
←メテ`ィア チョウセイ→



2 ↑ハ`ックフィード` フィート` ↓
←クリーニング` サービス→



3 #クリーニング`
>ツウジ`ョウ



4 #クリーニング`
*ツウジ`ョウ



5 #クリーニング`
*キョウリョク



6 #クリーニング`
*キョウリョク: 87654321



本機をオフラインにして、**MENU** キーを押す

← キーを押す

OK キーを押す

✓ キーを押す

OK キーを押す

OK キーを押す



◆ 前回のクリーニング実施から一定距離の印刷を行っている場合は、個別にヘッドを選択してのクリーニングはできません。

7 #クリーニング° 87654321
*ホ°トルカクニン OK?



#クリーニング° 87654321
*ジ°ツコウチュウ 12

10秒おきに数字がダウンする

8 #クリーニング°
>ツウジ°ヨウ



↑ハ°ックフィート° フィート° ↓
←クリーニング° サービス° →

◆フィルキャップ

1 ↑インク トウロク ↓
←メデ°ィア チョウセイ →



2 ↑ハ°ックフィート° フィート° ↓
←クリーニング° サービス° →



3 #キャップ° クリーニング°
>



4 #フィルキャップ°
>



5 #フィルキャップ°
*OK?



#フィルキャップ°
*ジ°ツコウチュウ

OK キーを押す

廃インクボトルが一杯になっていないことを目視で確認します。

クリーニング開始

クリーニング動作は数分かかります。

クリーニングが開始されると、所要時間が表示されます。所要時間は10秒おきにカウントダウンします。

← キーを押す

オフライン状態（メニューモード）表示に戻ります。

本機をオフラインにして、MENU キーを押す

→ キーを押す

✓ キーを数回押して、「#フィルキャップ」を選択する

OK キーを押す

OK キーを押す

1～2時間放置する

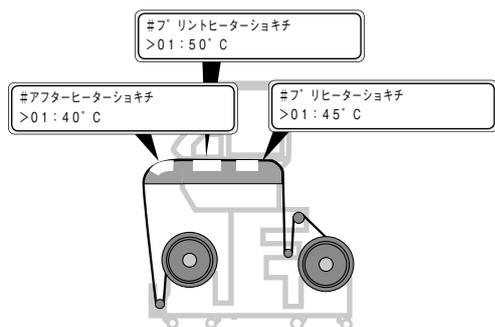
放置した後、印刷をする前にツウジョウクリーニングを実施してください。

ヒーターの設定をする

各ヒーター温度は、トウロクメニューで設定されたヒーター初期値が自動設定されます。したがって、通常はヒーターコントロールメニューを操作する必要はありません。ヒーターコントロールメニューは、印刷中に温度の微調整を行う場合や、現在のヒーター温度を確認する場合に使用します。

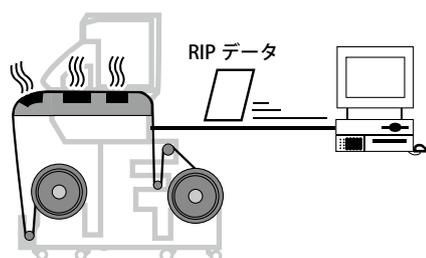
◆ヒーター温度設定の流れ

①メディアに登録された初期値温度でスタンバイ



メディアセット時にメディアの種類を選択すると、そのメディアに対して設定されている各ヒーターの温度初期値がメニュー上に表示されます。

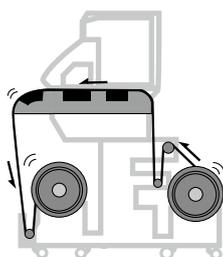
②RIP データを受信して加熱開始



RIP（プリントデータ、ジョブ）で温度設定をしている場合は、ヒーターコントロールメニュー上の設定温度は上書きされます。

◇ RIP で設定されている温度を無効にして、パネルで設定されている初期値を使用したい場合には、トウロクメニューのユウセンジュンイ ヒーターの設定をパネルにします。

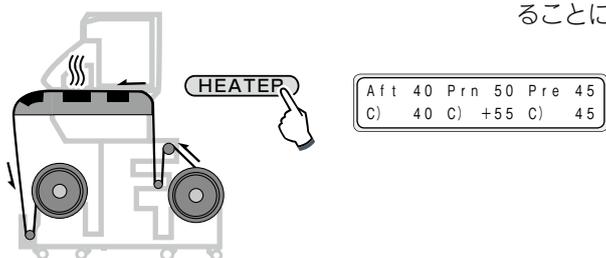
③設定温度近くになると印刷開始



アフターヒーター、プリントヒーター、プリヒーターのすべてのヒーターの現在温度が設定温度より 1°C 低い温度に到達すると、印刷を開始します。

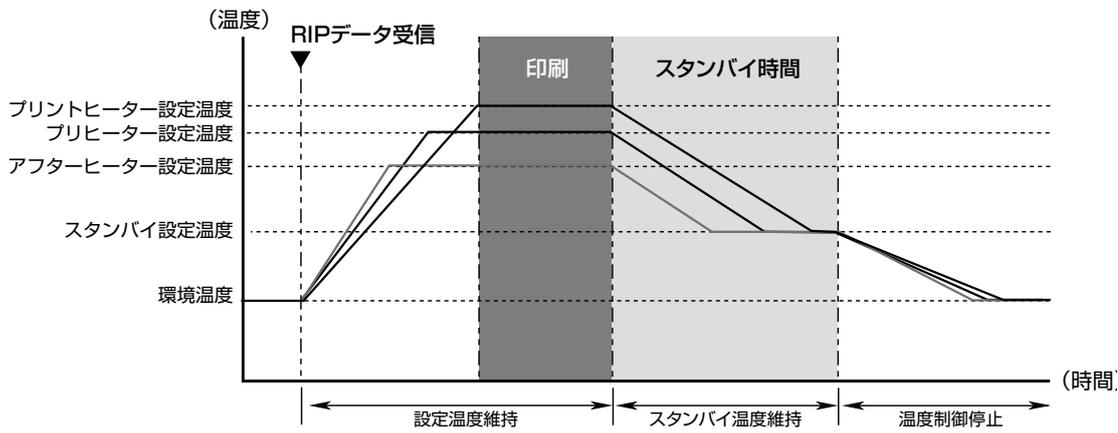
◇ ヒーターの設定最高温度は以下の通りです。
 アフターヒーター:70°C、プリントヒーター:55°C、
 プリヒーター:55°C
 ◇ 印刷が終了しても、本項で変えられた設定温度が、メディアをセットし直すまで（または電源をオフするまで）「設定温度」として残ります。ただし、トウロクメニューのヒーター初期値の温度は変更されません。

④印刷中にヒーター温度を変更



印刷中はヒーターコントロールメニューで設定温度を变えることにより、印刷しながら温度が変更できます。

■ 印刷時のヒーター温度制御

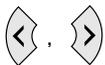


◇ スタンバイ温度の初期値は以下の通りです。
アフターヒーター:60℃、プリントヒーター:45℃、プリヒーター:45℃
ただし、設定温度が上記よりも低い場合は、設定温度まで温度が下がります。

◆ヒーターコントロールメニューを表示する

HEATER キーを押すとヒーターコントロールメニューが表示されます。

◆ヒーターコントロールメニューのキー操作



キー 設定するヒーターを選択します。



キー ヒーター温度を設定します。



キー ヒーターのオン/オフを切り換えます。



キー ヒーターコントロールメニュー表示中に、1.5秒押し続けると、印刷動作がなくても強制的にすべてのヒーターがオンになります(加熱制御を開始します)。



キー ヒーターコントロールメニュー表示中に、1.5秒押し続けると、**OK** キーで強制的にヒーターをオンした状態を解除します(加熱制御を停止します)。

◆ヒーターコントロールメニューの表示を終了する

ヒーターコントロールメニュー表示中に **HEATER** キーを押します。

■ ヒーターコントロールメニュー表示が自動で終了する場合

ヒーターヒョウジ シュウリョウ

ヒーターコントロールメニュー表示状態で、キーが30秒以上入力されない場合、自動的に「ヒーターヒョウジ シュウリョウ」と2秒間表示した後、ヒーターコントロールメニューの表示が終了します。
この表示中は、キー入力は無効となります。

■ メディア種類とヒーター設定に関する参考情報

メディアの種類ごとの、ヒーター設定温度とプリントモードの参考設定値（初期値）は、以下の通りです。ご使用のメディアにより、設定を変更してお使いください。

| メディア分類 | メディアの種類選択 | 推奨ヒーター設定温度 | | | プリントモード |
|--------|-----------|------------|------|-----|---------|
| | | アフター | プリント | プリ | |
| 光沢塩ビ | Glossy | 50℃ | 40℃ | 45℃ | 標準／双方向 |
| 光沢なし塩ビ | Matte | 50℃ | 40℃ | 45℃ | 標準／双方向 |
| ターポリン | Banner | 50℃ | 40℃ | 45℃ | 標準／双方向 |

ヒーター設定温度は、アフター 60℃以下、プリント 45℃以下、プリ 50℃以下の範囲内での設定を推奨します。

⚠️ 注意

- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、インクの定着性は良くなりますが、メディアのシワや印刷面のマット化の原因になる場合があります。メディアの種類や環境温度にあわせて調整してください。
- ◆ プリントヒーターを高温に設定すると、安定した印刷品質を得るために、自動的に印刷速度を落として印刷する場合があります。
- ◆ アフター／プリヒーターの温度は、プリントヒーター温度に対して、アフターヒーターは +5～10℃、プリヒーターは +5℃を目安に設定してください。アフター／プリヒーターとプリントヒーターのバランスが悪いとメディアにシワが発生する場合があります。
- ◆ プリントヒーターを高温にすると印刷抜けが発生することがあります。

◆ 初期値温度を設定する

- ↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

↓
 - #メディアセンタク
>01:PAPER *

↓ ...
 - #アフターヒーターショキチ
>01:40℃

↓
 - #アフターヒーターショキチ
*01:40℃

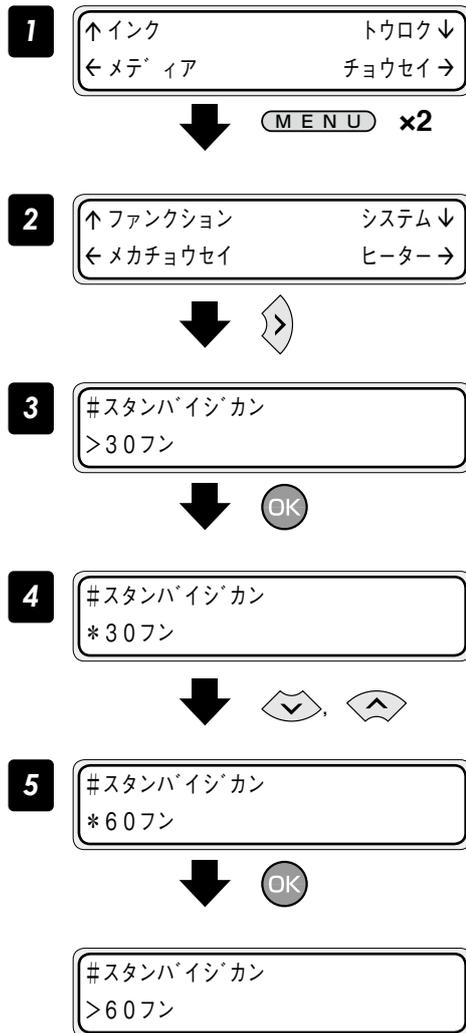
↓
 - #アフターヒーターショキチ
*01:50℃

↓

#アフターヒーターショキチ
>01:50℃
- 本機をオフラインにし、 キーを押す
- キーを数回押して「#アフターヒーターショキチ」を選択する
- キーを押す
- 設定温度を入力する
, キーで桁を合わせ、, キーで数値を設定します。
- キーを押す

◆スタンバイ時間を設定する

印刷終了後、ヒーターのスタンバイ設定温度を維持する時間を選択します。(スタンバイ設定温度に移行する時間も含まれます。)



本機をオフラインにし、MENU キーを2回押す

> キーを押す

OK キーを押す

↓ , ↑ キーを押して維持時間を選択する

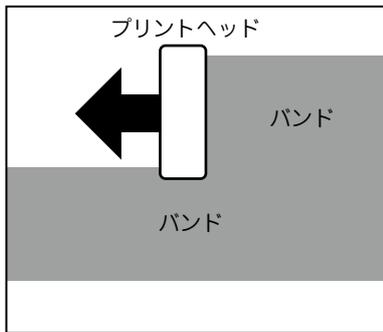
OK キーを押す

設定完了

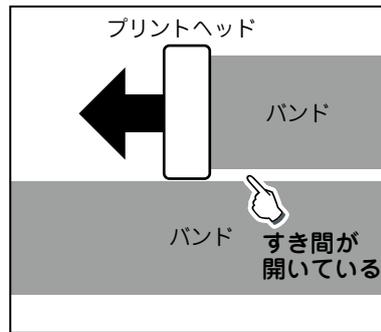
スマートパステクノロジーについて

インクジェットプリンターでは1スキャンで印刷する幅（バンド）の間隔で横縞模様が発生することがあります。この横縞模様のことをバンディングと言います。バンディングの原因は、主にメディアに不適切な送り補正值が設定されていることです。適切な値ならすき間無くつながるバンド間が、値が大きすぎるとすき間が開き（白スジ）、小さすぎると重なり（黒スジ）横縞模様が発生します。他にも、インクの乾燥が遅い場合やスキャン毎の送り量のバラツキが大きいメディアを使用した場合でもバンディングは発生します。

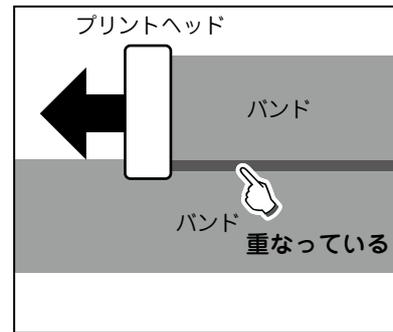
正確なメディア送り



白スジ



黒スジ



スマートパステクノロジーは、このバンディングを軽減する機能です。印刷モード「最高速」のみスマートパスをRIPから選択、設定することができます。

印刷モード「最高速」以外の印刷モードはスマートパス「中」が常時適用されます。

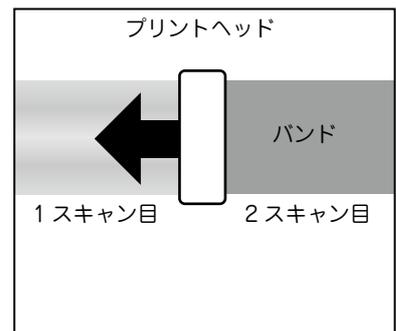
スマートパステクノロジーでは適切な送り補正值でもバンド間は全て重なって印刷されます。バンド間の重ね合わせ部分を独自のアルゴリズムで処理し、横縞模様を見えにくくします。

本機では、この重ね合わせ強度を2段階（弱、中）用意しています。

重ね合わせ部分の処理が強くなるほど横縞模様は見えにくくなりますが、印刷速度が遅くなります。

品質を重視する場合は、重ね合わせ強度を強くし、印刷速度を重視する場合は、弱く設定してください。

スマートパステクノロジー





調整をする前に

調整を行う前に、以下の作業を行ってください。

- ① ヒーターを強制的に ON に設定し、装置を 30 分以上温めてください。
装置が十分に温まった後、調整を実施してください。装置が充分温まっていない状態で調整を行うと、正しく調整が行えない場合があります。
- ② プリントヘッドの高さを合わせる為、加圧操作ノブを「Open」にして、メディアを再度セットし直してください。

注意

◆ 新規メディアに交換した場合、印刷モードを変更した場合等は印刷調整を行う必要があります。

印刷調整には、「送り調整」と「往復調整」があります。
それぞれに対し「自動印刷調整」と「マニュアル印刷調整」があります。

送り調整

メディアの送り量を調整します。

往復調整

双方向印刷時のインク着弾位置を調整します。

自動印刷調整

📖 77 ページ

📖 82 ページ

マニュアル印刷調整

📖 79 ページ

📖 84 ページ

印刷調整には「自動印刷調整」と「マニュアル印刷調整」があります。
「自動印刷調整」は調整パターンを印刷し、センサーで読み取ることで自動的に補正值が設定されます。
「マニュアル印刷調整」は調整パターンを印刷し、目視により補正值を選択し、設定を行います。



自動印刷調整とマニュアル印刷調整の使い分け

- ◆ 「自動印刷調整」は以下の方にお勧めします。
 - ・ 初心者の方
 - ・ マニュアル印刷調整が難しいと感じる方
 - ・ 調整を早く済ませたい方
- ※ メディアによっては対応できない場合があります。自動印刷調整で画質が改善されない場合はマニュアル印刷調整を行ってください。
- ◆ 「マニュアル印刷調整」は以下の方にお勧めします。
 - ・ より良い画質で出力したい方

◆自動印刷調整の注意事項

⚠注意

- ◆ 以下の条件では自動印刷調整は正しい補正値を設定できません。条件を改善するか、マニュアル印刷調整を実施してください。
 - また、自動印刷調整は機械により補正値を決定する都合上、完全な精度を保証するものではありません。
 - ・センサーによるパターン読み取りに適さないメディアを使用している場合」
 （一般的なメディアであっても、自動印刷調整に不向きな場合があります）
 <例>
 - ・透明なメディアや色の付いたメディア
 - ・表面に凹凸があるメディア
 - ・光の反射率が極めて高いメディア、光の反射率が極めて低いメディア
 - ・滲みやすい等、パターンが正しく形成できないメディア
 - ・調整パターンの濃度差が出ないメディア
 - ・埃、インク、指紋の付着等によりメディア表面が汚れている場合
 - ・メディアに浮きが発生している場合
 - ・ノズル詰まりが多く発生している場合
 - ・メディアヒーター温度が適切でない場合
 - ・強い外乱光にさらされている場合
- ◆ 「自動印刷調整」は、印刷したパターンを読み取って補正値を決定しますが、メディアの経年劣化や、ロットの違いによっても、パターンの結果が違ってくることがあります。
 このため、同じメディアであっても正しい補正値が設定できなくなることがあり、実印刷の画質が劣化する場合があります。
 このような場合には、マニュアル印刷調整を実施してください。

◆自動印刷調整が実行できない

自動印刷調整を実行して次のメッセージが表示された場合、自動印刷調整を行うことができません。代わりにマニュアル印刷調整を実行するか、下記の確認と対処を行ってください。

マニュアル チョウセイヲ
シッコウシテクタガサイ 1

意味 センサーの光量が基準のレベルに到達していない場合に発生します。

| 確認事項 | 対処方法 |
|----------------------------|---|
| 自動印刷調整用センサーがインクミストで汚れていないか | 自動印刷調整用センサーの清掃を行ってください。 ( 基本操作ガイド 92 ページの「自動印刷調整用のセンサーと表面の清掃」) |
| メディアが汚れていないか | 汚れの無い箇所までフィードしてください。 |
| メディアが皺になっていないか | メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。 |
| 光の反射率が低すぎるメディアを使用していないか | 自動印刷調整はメディアによっては対応できない場合があります。マニュアル印刷調整を行ってください。 |

マニュアル チョウセイヲ
ジッコウシテクタサイ

2

意味 センサーの光量が基準のレベル以上になってしまう場合に発生し
ず。

| 確認事項 | 対処方法 |
|-------------------------|--|
| メディアが皺になっていないか | メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。 |
| センサーに外乱光が入光していないか | 外乱光を遮光するか、プリンターの設置位置を変更してください。 |
| 光の反射率が高すぎるメディアを使用していないか | 自動印刷調整はメディアによっては対応できない場合があります。マニュアル印刷調整を行ってください。 |

マニュアル チョウセイヲ
ジッコウシテクタサイ

3

意味 補正値の判定が正しく行えない場合に発生します。

| 確認事項 | 対処方法 |
|-----------------------------------|--|
| メディアが皺になっていないか | メディアをセットし直すか、皺がなくなるまでフィードしてください。 |
| ノズル詰まりが発生していないか | クリーニングを実施してください。 |
| メディアヒータ温度が適切か | パターンが滲まないようにメディアヒータ温度を変更してください。 |
| パターンの形成・読み取りが正しく行えないメディアを使用していないか | 自動印刷調整はメディアによっては対応できない場合があります。マニュアル印刷調整を行ってください。 |

調整方法

◆メディアの送り量を調整する「送り調整」

メディアは厚み、コシの強さ、表面の摩擦抵抗などによって搬送性能が変化します。画を綺麗に出力するためには送り調整を実行し、適切な送り補正値を設定する必要があります。



どんな時に送り調整が必要か

- ◆ 以下の条件を変更したとき
 - ・ 印刷モードの変更
 - ・ 加圧操作ノブによる圧力変更
 - ・ 巻き取り装置の使用／未使用
 - ・ メディア種類の変更
 - ・ 搬送経路の変更
- ◆ 送り補正値が正しくないとき
送り補正値が正しくない場合は印刷結果に周期的なバンディング（横縞）が発生します。

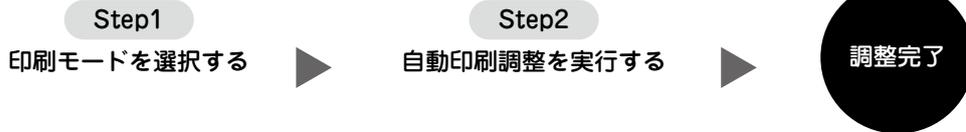
⚠注意

- ◆ メディア送りモードを「シーケンス 2」に設定している場合、自動印刷調整および、マニュアル印刷調整は「シーケンス 1」に変更してから行ってください。
(設定を変更せずに調整を行うと、適正な補正値を得られない場合があります。)
調整が終了したら、再度、メディア送りモードを元の設定に戻してください。

■ 自動印刷調整

自動印刷調整の注意事項 (📖 75 ページ)

<作業の流れ>



↓ 画質が改善されない場合

マニュアル印刷調整を実行する (📖 79 ページ)

1

メディアをセットする

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

2

プリントデキマス
ロール: 1625/PAPER



ONLINE

プリンターをオフラインにする

(**ONLINE** キーを押します。)

3 ↑インク トウロク↓
←メテ`ィア チョウセイ→



> キーを押して「チョウセイ」メニューへ入る

4 #ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
>インサツジ`ッコウ



∨, ^ キーを押して「#ジドウチョウセイ オクリ」を選択する

5 #ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
#インサツジ`ッコウ>



OK キーを押す

6 #ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
#インサツジ`ッコウ>



∨, ^ キーを押して「#モード」を選択する

7 #ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
#モード` >サイコウソク L



OK キーを押す

8 #ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
#モード` *サイコウソク L



∨, ^ キーを押して、調整する印刷モードを選択し、OK キーを押す

| 印刷モード |
|----------|
| サイコウソク L |
| サイコウソク M |
| コウソク |
| ヒョウジュン |
| コウガシツ |
| サイコウガシツ |

#ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
#モード` *ヒョウジ`シュン



9 #ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
#モード` >ヒョウジ`シュン



∨, ^ キーを押して「インサツジッコウ」を選択し、OK キーを押す

#ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
#インサツジ`ッコウ>

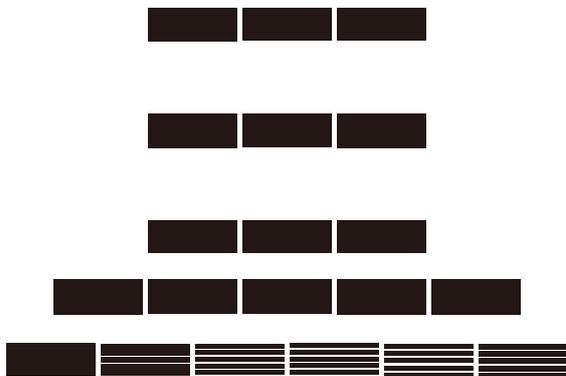


10 #ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
*インサツジ`ッコウ>OK?



OK キーを押して送り調整を実行する

#ジ`ト`ウ`ウ`チョウ`セイ オクリ
*インサツジ`ッコウ>



送り調整パターンの印刷とセンサーによるパターンの読み取りを行う

さらに細かい調整を行う場合は、「オクリ シングル」または、「オクリ マルチ」を行ってください。

「オクリ シングル」または、「オクリ マルチ」の調整方法は、 79 ページを参照してください。

■ マニュアル印刷調整

マニュアル印刷調整では、メディア送り調整パターンの「シングル」または、「マルチ」のどちらのパターンを使っても送り補正値を決定することができます。

「オクリ シングル」は、現設定の「オクリホセイチ」で印刷を行います（1パターン）。

「オクリ マルチ」は、現設定の「オクリホセイチ」 - 0.2%、現設定の「オクリホセイチ」、現設定の「オクリホセイチ」 + 0.2%の3つのパターンを印刷します。

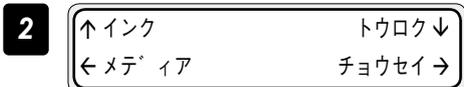
<作業の流れ>



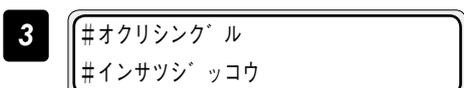
調整パターン「オクリ マルチ」を印刷する

1 長さ 4m 以上のメディアを取り付ける

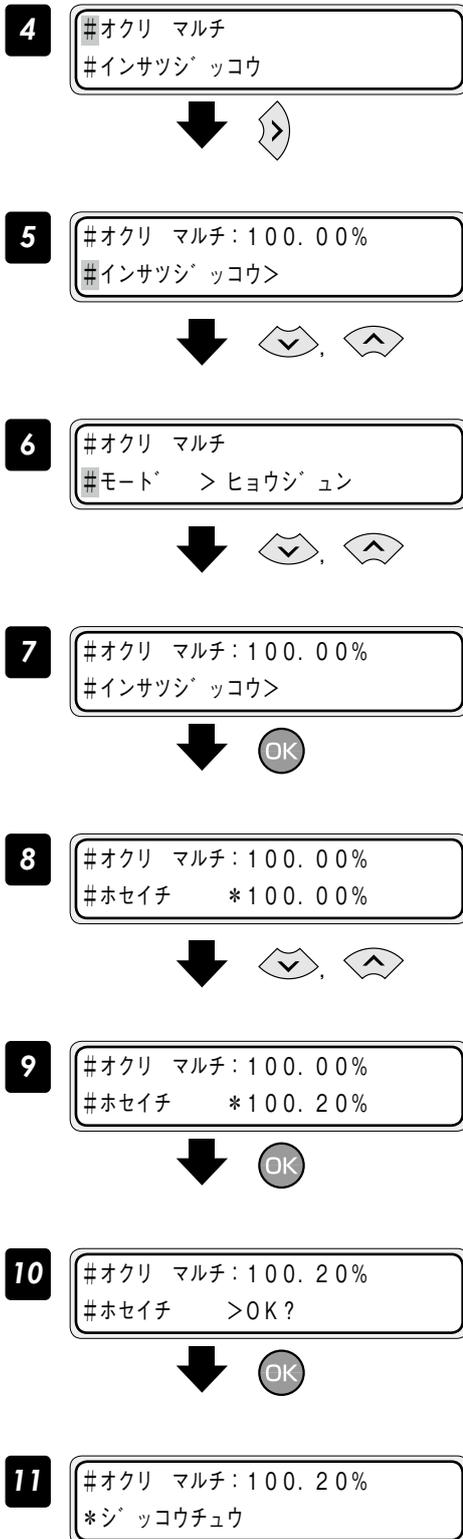
実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。



本機をオフラインにし、 キーを押す



, キーを押して、送り調整パターン「マルチ」の表示にする



キーを押し、印刷するパターン（オクリ マルチ）を選択する

, , キーを押して、印刷モードを選択する

メディア送りを調整したいメディアで通常お使いいただく印刷モードを選択してください。

, キーを押して、「インサツジッコウ」を選択する

キーを押す

補正值入力の表示になるので、, キーで補正值を調整する

キーを押す

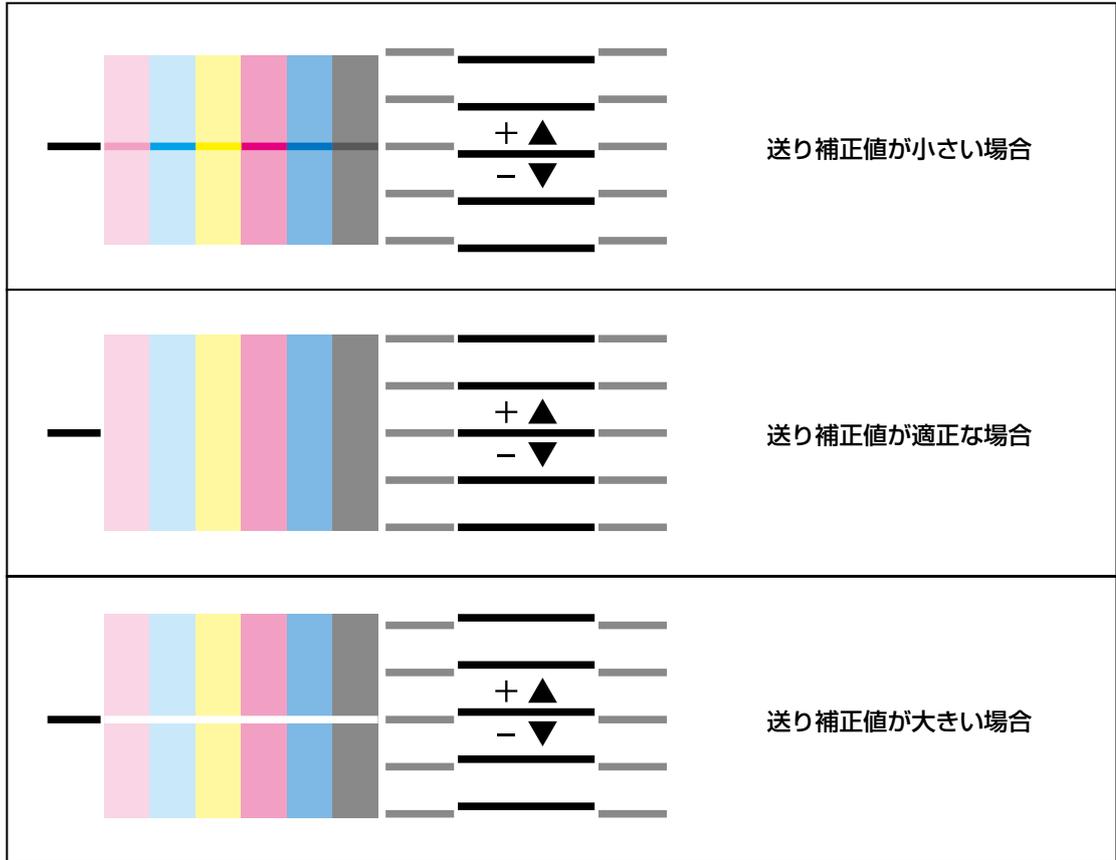
補正值を確認し、 キーを押す

調整パターンが印刷されます。

印刷結果を見て補正值が正しくないようであれば、手順 7～11 を繰り返し行い、補正值を決定します。



送り調整パターンの見方



注意

- ◆ プリントヘッド毎（毎色）に、適正な補正値が違う場合は平均的な値を設定してください。ただし、印刷する画像で優先される色がある場合は、その色の補正値を設定してください。
- ◆ メディアの左右で適正な補正値が違う場合は平均的な値を設定してください。
- ◆ メディアの左右で適正な補正値が違う場合はメディアの斜行などが原因となっている可能性があります。メディアが斜めにセットされていないか再確認してください。

◆往復のインク着弾位置を補正する「往復調整」

双方向印刷をする場合、メディアの厚みや印刷モードの違いによって往路と復路の着弾位置にズレが生じます。画を綺麗に出力するためには往復調整を実行し、適切な往復補正值を設定する必要があります。



どんな時に往復調整が必要か

- ◆ 以下の条件を変更したとき
 - ・メディアの変更
 - ・印刷モードの変更
 - ・キャリッジ速度（標準・低速）の変更
 - ・ヘッド高さの変更
- ◆ 往復補正值が正しくないとき
往復補正值が正しくない場合は印刷結果に粒状感やピントのズレが発生します。

■ 自動印刷調整

自動印刷調整の注意事項 (📖 75 ページ)

<作業の流れ>

Step1
印刷モードに対応する
往復調整パターンを選択する



Step2
自動印刷調整を実行する



調整完了

↓ 画質が改善されない場合

マニュアル印刷調整を実行する (📖 84 ページ)

1

メディアをセットする

実際に印刷する時と同じ条件でメディアをセットしてください。

2

プリントテキスト
ロール：1625/PAPER

プリンターをオフラインにする

(**ONLINE**) キーを押します。)



3

↑インク トウロク↓
←メディア チョウセイ→

> キーを押して「チョウセイ」メニューへ入る



4

#ジドウチョウセイ オクリ
>インサツジッコウ

⏏, ⏏ キーを押して「#ジドウチョウセイ オウフク」を選択する



5 #シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
#イン^サツ^ジッ^コウ>



6 #シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
#イン^サツ^ジッ^コウ>



7 #シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
#モード >ス^ペテ^ノ モード



8 #シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
#モード *ス^ペテ^ノ モード



#シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
#モード *ス^ペテ^ノ モード



9 #シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
#モード >ス^ペテ^ノ モード



#シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
#イン^サツ^ジッ^コウ>



10 #シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
*イン^サツ^ジッ^コウ>OK?



#シ^トウ^チョウ^セイ オウ^フク
*イン^サツ^ジッ^コウ>



OK キーを押す

⏴, ⏵ キーを押して「#モード」を選択する

OK キーを押す

⏴, ⏵ キーを押して、調整する印刷モードを選択し、OK キーを押す

| 往復調整パターン | 印刷モード |
|---------------|----------------|
| スペテノ モード | 全ての印刷モードを調整します |
| 1: サイソク, コウソク | 最高速、高速 |
| 2: ヒョウジュン | 標準 |
| 3: コウガシツ | 高画質 |
| 4: サイコウガシツ | 最高画質 |

⏴, ⏵ キーを押して「インサツジッコウ」を選択し、OK キーを押す

OK キーを押して往復調整を実行する

往復調整パターンの印刷とセンサーによるパターンの読み取りを行う

さらに細かい調整を行う場合は、「オウフク マニュアル」を行ってください。「オウフク マニュアル」の方法は、84 ページを参照してください。

■ マニュアル印刷調整

各プリントヘッドの往復の着弾位置を調整します。

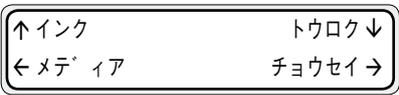
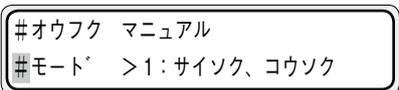
<作業の流れ>



各プリントヘッドの往復位置を調整します。「オウフク マニュアル」の印刷結果をもとに補正値を入力します。

<調整手順>

STEP 1 「オウフクチョウセイ マニュアル」を印刷する

-  1 ↑インク トウロク↓
←メデ`ィア チョウセイ→
↓ > キーを押して「チョウセイ」メニューへ入る
-  2 #オクリシingle
#インサツジ`ッコウ>
↓ ∨, ^ キーを押して「オウフク マニュアル」を選択する
-  3 #オウフク マニュアル
#インサツジ`ッコウ>
↓ > キーを押す
-  4 #オウフク マニュアル
#インサツジ`ッコウ>
↓ ∨, ^ キーを押して「パターン」を選択する
-  5 #オウフク マニュアル
#モード` >1:サイソク、コウソク
↓ OK キーを押す

6 #オウフク マニュアル
#モード *1:サイソク、コウソク



▽, ▲ キーを押して、印刷するパターン
を選択し、OK キーを押して確定する

往復調整パターン<対応印刷モード>

| モード | インサツモード |
|-------------|-------------|
| 1:サイソク、コウソク | サイコウソク、コウソク |
| 2:ヒョウジュン | ヒョウジュン |
| 3:コウガシツ | コウガシツ |
| 4:サイコウガシツ | サイコウガシツ |

7 #オウフク マニュアル
#モード 2:ヒョウジュン



▽, ▲ キーを押して「インサツジッコウ」
を選択する

8 #オウフク マニュアル
#インサツジッコウ>



OK キーを押す

9 #オウフク マニュアル
#インサツジッコウ>OK?

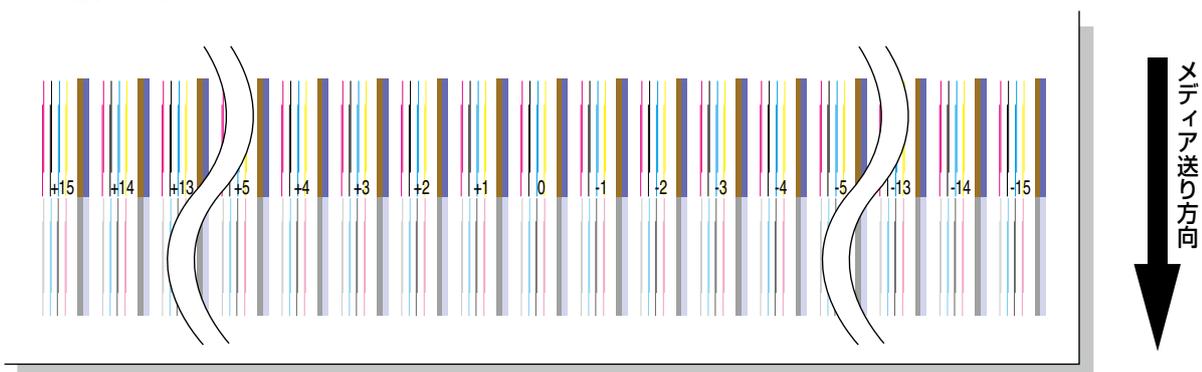


OK キーを押す

10 #オウフク マニュアル
#ジッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

・印刷サンプル



STEP 2 補正値を入力する

1 #オウフク マニュアル
#インサツジ ッコウ>



⏴, ⏵ キーを押し、ホセイチ L 又は、ホセイチ R を選択する

2 #オウフク マニュアル
#ホセイチ2L M7 >+00



OK キーを押して補正するヘッドを確定する

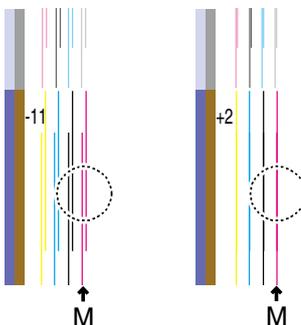
ここでは例としてホセイチ 2L の M7 ヘッドを調整する場合を説明します。

3 #オウフク マニュアル
#ホセイチ2L M7 *+00

⏪, ⏩ キーで桁を合わせ、⏴, ⏵ キーで値を変更する

補正値は、各プリントヘッドの 2 本線がもっとも合わさっている値を入力します。

例えば、M7 プリントヘッドを設定する場合、右図では -11 はずれています。+2 では 1 本に合わさっているため、「+2」を入力します。



4 #オウフク マニュアル
#ホセイチ2L M7 *+02



OK キーを押す

5 #オウフク マニュアル
#ホセイチ2L M7 >+02

ホセイチ 2R についても同様に調整します。
他のヘッドについても同様に調整します。

◆オートクリーニング前後の画像のつなぎ目を調整する「戻し調整」

「クリーニングモード」を「インサツマエ&インサツチュウ1」で使用したときに、印刷途中で自動で行われるクリーニングの前後に印刷された画像のつなぎ目の位置を調整します。

「モドシチョウセイパターン」の印刷結果をもとに、補正值を入力します。

調整を行うときには、あらかじめ、「トウロク」メニューで「クリーニングモード」を「インサツマエ&インサツチュウ1」に設定しておいてください。

<調整手順>

STEP 1 調整パターン「モドシチョウセイパターン」を印刷する

- 1**

↑インク トウロク↓
 ←メデ`ィア チョウセイ→

↓

本機をオフラインにし、 キーを押す
- 2**

#オクリ シングル
 #インサツジ`ッコウ

↓ ,

, キーを押して「モドシチョウセイ」を選択する
- 3**

#モト` シチョウセイ
 #インサツジ`ッコウ>

↓

キーを押す
- 4**

#モト` シチョウセイ
 #インサツジ`ッコウ>

↓ ,

, キーを押して、「モード」を選択する
- 5**

#モト` シチョウセイ
 #モード` >ヒョウジ`ユン

↓

キーを押す
- 6**

#モト` シチョウセイ
 #モード` *サイコウソク L

↓ , ,

, キーを押して、印刷するモードを選択し、 キーを押して確定する
- 7**

#モト` シチョウセイ
 #モード` >サイコウソク L

↓ ,

, キーを押して「インサツジッコウ」を選択する

8 #モト シチョウセイ
#インサツジ ッコウ>



OK キーを押す

9 #モト シチョウセイ
#インサツジ ッコウ>OK?

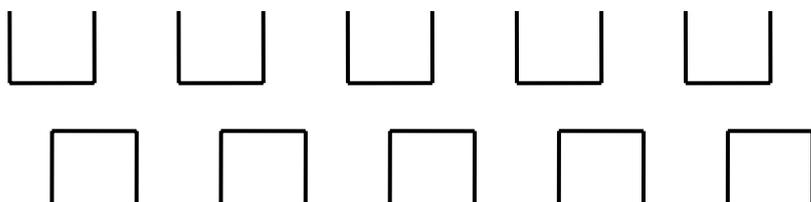


OK キーを押す

10 #モト シチョウセイ
*シ ッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

・印刷サンプル



STEP 2 補正値を入力する

1 #モト シチョウセイ
#インサツジ ッコウ>



▽, △ キーを押して、ホセイチを選択する

2 #モト シチョウセイ
#ホセイチ >+0000ハ° ルス



OK キーを押す

3 #モト シチョウセイ
#ホセイチ >*0000ハ° ルス

◀, ▶ キーで桁を合わせて ▽, △ キーで値を変更し、OK キーを押す

4 #オウフク オート
#ホセイチ >*0400ハ° ルス



OK キーを押す

5 #オウフク オート
#ホセイチ >+0400ハ° ルス

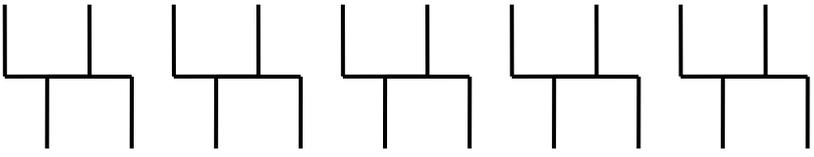
補正値の入力は完了です。

STEP 3 「モドシチョウセイ」をもう一度印刷し、調整パターンの横線が合っているか確認する。

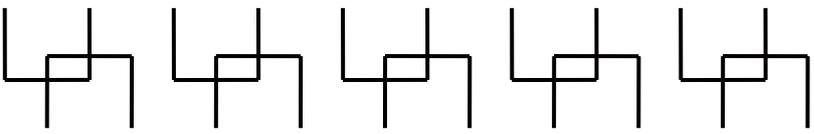
1 調整パターンの横線が合うまで、「STEP 1」と「STEP 2」を繰り返す

 **戻し調整パターンの見方**

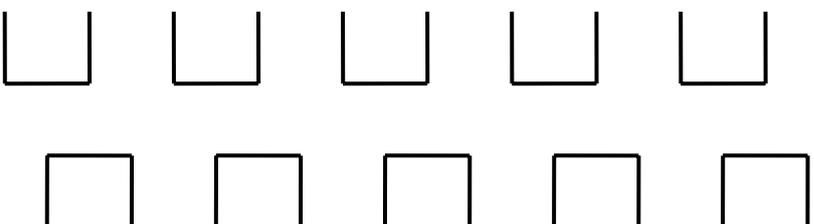
補正値は、調整パターンの横線が重なるように設定します。



値を大きくすると、パターンの間隔が狭まります。



値を小さくすると、パターンの間隔が広がります。



◆プリントヘッドの位置と左右位置を調整する「ヘッド調整」

各プリントヘッドの主走査方向（メディアの左右）のヘッド位置をK 5 プリントヘッドを基準に調整します。「ヘッドチョウセイ」の印刷結果をもとに、補正値を入力します。

<調整手順>

STEP 1 調整パターン「ヘッドチョウセイ」を印刷する

1

| | |
|--------|---------|
| ↑ インク | トウロク ↓ |
| ← メディア | チョウセイ → |

↓ **MENU** x2

本機をオフラインにし、**MENU** キーを2回押しメカチョウセイメニューを表示する

2

| | |
|-----------|--------|
| ↑ ファンクション | システム ↓ |
| ← メカチョウセイ | ヒーター → |

↓ 

 キーを押す

3 #ノズル^{*}プリント
#インサツジ^{*}ツコウ



⏴, ⏵ キーを押して「#ヘッドチョウセイ」を選択する

4 #ヘッド^{*}チョウセイ
#インサツジ^{*}ツコウ>



⏴ キーを押す

5 #ヘッド^{*}チョウセイ
#インサツジ^{*}ツコウ>



OK キーを押す

6 #ヘッド^{*}チョウセイ
#インサツジ^{*}ツコウ>OK?

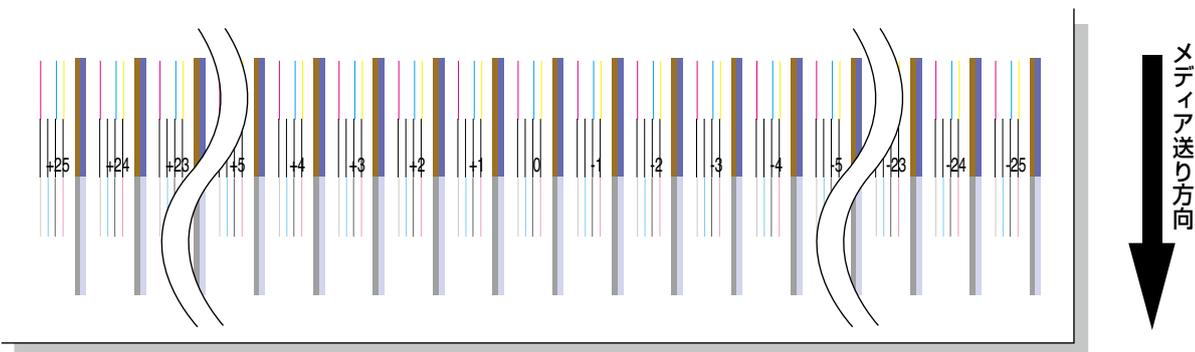


OK キーを押す

7 #ヘッド^{*}チョウセイ
シ^{}ツコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

・印刷サンプル



STEP 2 補正值を入力する

ヘッド位置補正值を入力します。

1 #ヘッド^{*}チョウセイ
#インサツジ^{*}ツコウ>



⏴, ⏵ キーを押して、ヘッド色を変更する

2 #ヘッド^{*}チョウセイ
#イチホセイチ Lc6>+00



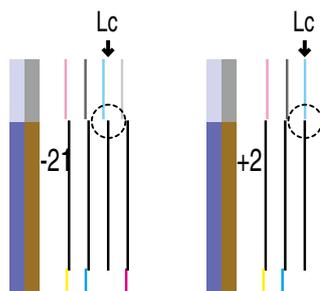
OK キー押して、補正するヘッドを確定する
ここでは例としてLc6ヘッドを調整する場合を説明します。

3 #ヘッド チョウセイ
#イチホセイチ Lc6 *+00

◀, ▶ キーで桁を合わせて ◻, ◻ キーで値を変更する

補正値は、K5プリントヘッドの線と位置が一致している値を入力します。例えば、右図のLc6プリントヘッドでは-21はずれていますが、+2では一致していますので、「+2」を入力します。

#ヘッドイチホセイチ
#Lc6 *+02



4 #ヘッド チョウセイ
#イチホセイチ Lc6 *+02

OK キーを押す



5 #ヘッド チョウセイ
#イチホセイチ Lc6 >+02

他の色についても同様に調整します。

続けてヘッド左右補正値を入力します。

6 #ヘッド チョウセイ
#サユウホセイチ M7 >+00

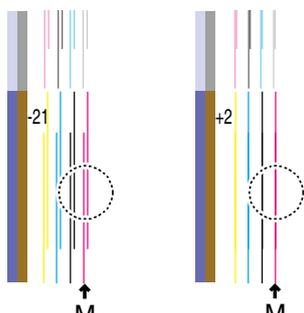
OK キーを押して、補正するヘッドを確定する
ここでは例としてM7ヘッドを調整する場合を説明します。



7 #ヘッド チョウセイ
#サユウホセイチ M7 *+00

◀, ▶ キーで桁を合わせて ◻, ◻ キーで値を変更する

補正値は、各プリントヘッドの2本線がもっとも合わさっている値を入力します。例えば、M7プリントヘッドを設定する場合、右図では-21はずれていますが、+2では1本に合わさっているため、「+2」を入力します。



8 #ヘッド* チョウセイ
#サユウホセイチ M7 *+02



OK キーを押す

9 #ヘッド* チョウセイ
#サユウホセイチ M7 >+02

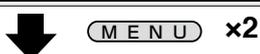


他のヘッドについても同様に調整します。

◆エッジセンサーの位置を補正する「エッジセンサー調整」

エッジセンサー調整パターンを印刷して、エッジセンサー位置を補正します。印刷後、距離を測定し、パラメータのセットを行います。

1 ↑インク トウロク↓
←メテ^ィア チョウセイ→



本機をオフラインにし、**MENU** キーを2回押す

2 ↑ファンクション システム↓
←メカチョウセイ ヒーター→



← キーを押す

3 #オクリシ^ング ル
#インサツジ^ィ ッコウ



∨, ^ キーを押して「エッジセンサーチョウセイ」を選択する

4 #エッジ^ィ センサー-チョウセイ
#インサツジ^ィ ッコウ>



> キーを押す

5 #エッジ^ィ センサー-チョウセイ
#インサツジ^ィ ッコウ>



OK キーを押す

6 #エッジ^ィ センサー-チョウセイ
#インサツジ^ィ ッコウ>OK?

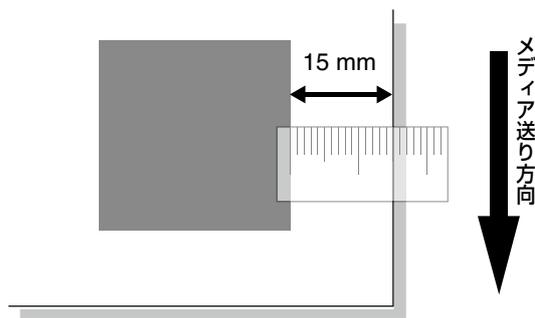


OK キーを押す

7 #エッジ センサーチョウセイ
*ジ ッコウチュウ

調整パターンが印刷されます。

8 ・印刷サンプル



印刷結果を判定する

印刷結果の余白部分を直尺または定規で測定します。
仕様 15mm に対しての誤差を求めます。
誤差が 0mm であれば終了とします。
誤差が 0mm でない場合は、以下の手順で補正します。



補正値の求め方

◆ 15mm を基準値として余白部分を計測し、補正値を求めます。

<例>

余白部分が 14mm だった場合：-1.0mm が補正値になります。

余白部分が 16mm だった場合：+1.0mm が補正値になります。

9 #エッジ センサーチョウセイ
#インサツジ ッコウ>

, キーを押して「イチホセイチ」を選択する



10 #エッジ センサーチョウセイ
#イチホセイ >+0.0mm

キーを押す



11 #エッジ センサーチョウセイ
#イチホセイ *+0.0mm

, キーで桁を合わせて , キーで値を変更し、 キーを押す



12 #エッジ センサーチョウセイ
#イチホセイ *+0.5mm

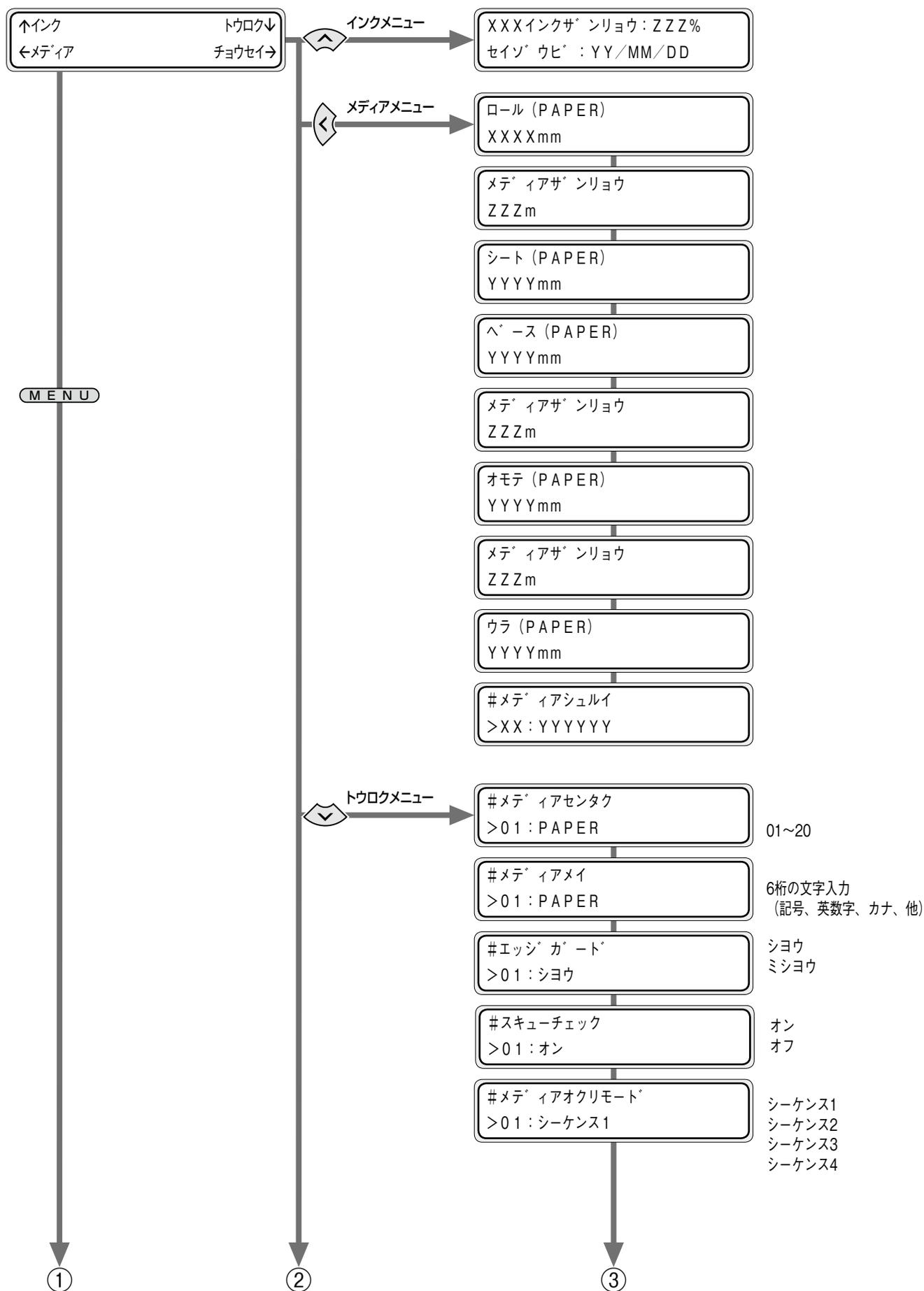
キーを押す



13 #エッジ センサーチョウセイ
#イチホセイ >+0.5mm

調整完了です。

メニューツリー

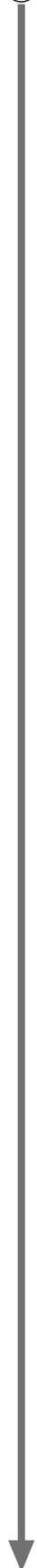


①



①

②



②

③

| | |
|---|--|
| #メテ [°] ィアモト [°] シモード [°] >01:モト [°] ス | モドス モドサナイ |
| #キュウチャクファン >01:チュウ | キョウ チュウ ジャク オフ |
| #アフターヒーターショキチ >01:**°C | 15°C~70°C 59°F~158°F |
| #フ [°] リントヒーターショキチ >01:**°C | 15°C~55°C 59°F~131°F |
| #フ [°] リヒーターショキチ >01:**°C | 15°C~55°C 59°F~131°F |
| #カラーストライフ [°] >01:オフ | オフ オン |
| #ハット [°] タカサチョウセイ >01:+0.0mm | -0.0~+1.0 (単位:0.1mm) |
| #クリーニング [°] モード [°] >01:インサツマエ&インサツゴ [°] | インサツマエ&インサツゴ インサツマエ&インサツチュウ1 インサツマエ&インサツチュウ2 オフ セツヤク |
| #ロールエンド [°] ケンシュツ >01:モード1 | モード1 モード2 |
| #ユウセンジ [°] ユンイ オクリ >01:テ [°] ータ | テ [°] ータ パ [°] ネル |
| #ユウセンジ [°] ユンイ ヒーター >01:テ [°] ータ | テ [°] ータ パ [°] ネル |
| #タイキカンカク >01:0000スキャン | 0000~9999 |
| #タイキジ [°] カン >01:10ピ [°] ョウ | 1~99秒 |
| #キャリッジ [°] ソクト [°] >01:ヒョウジ [°] ユン | ヒョウジ [°] ユン テイソク |

④

①

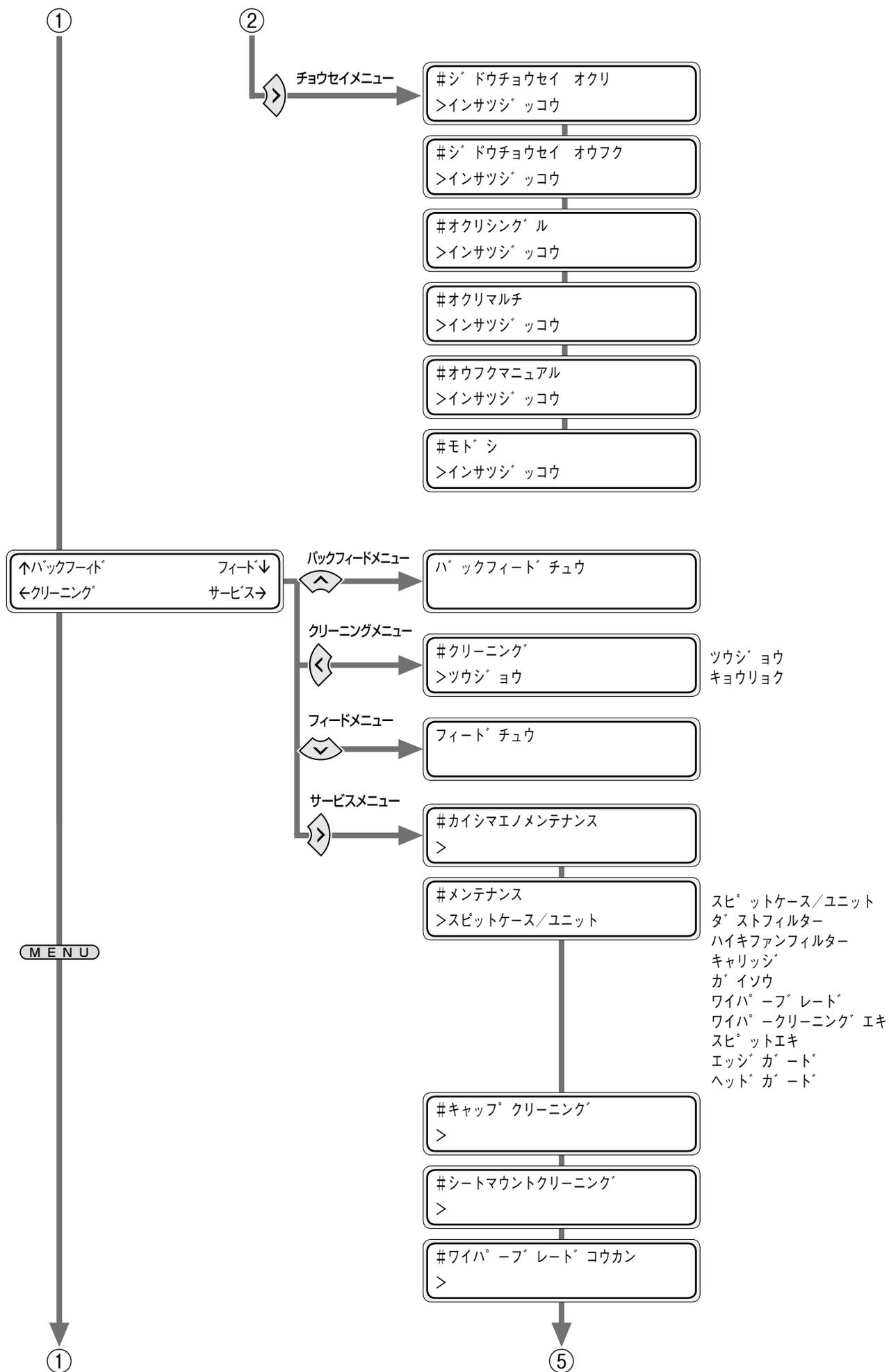
②

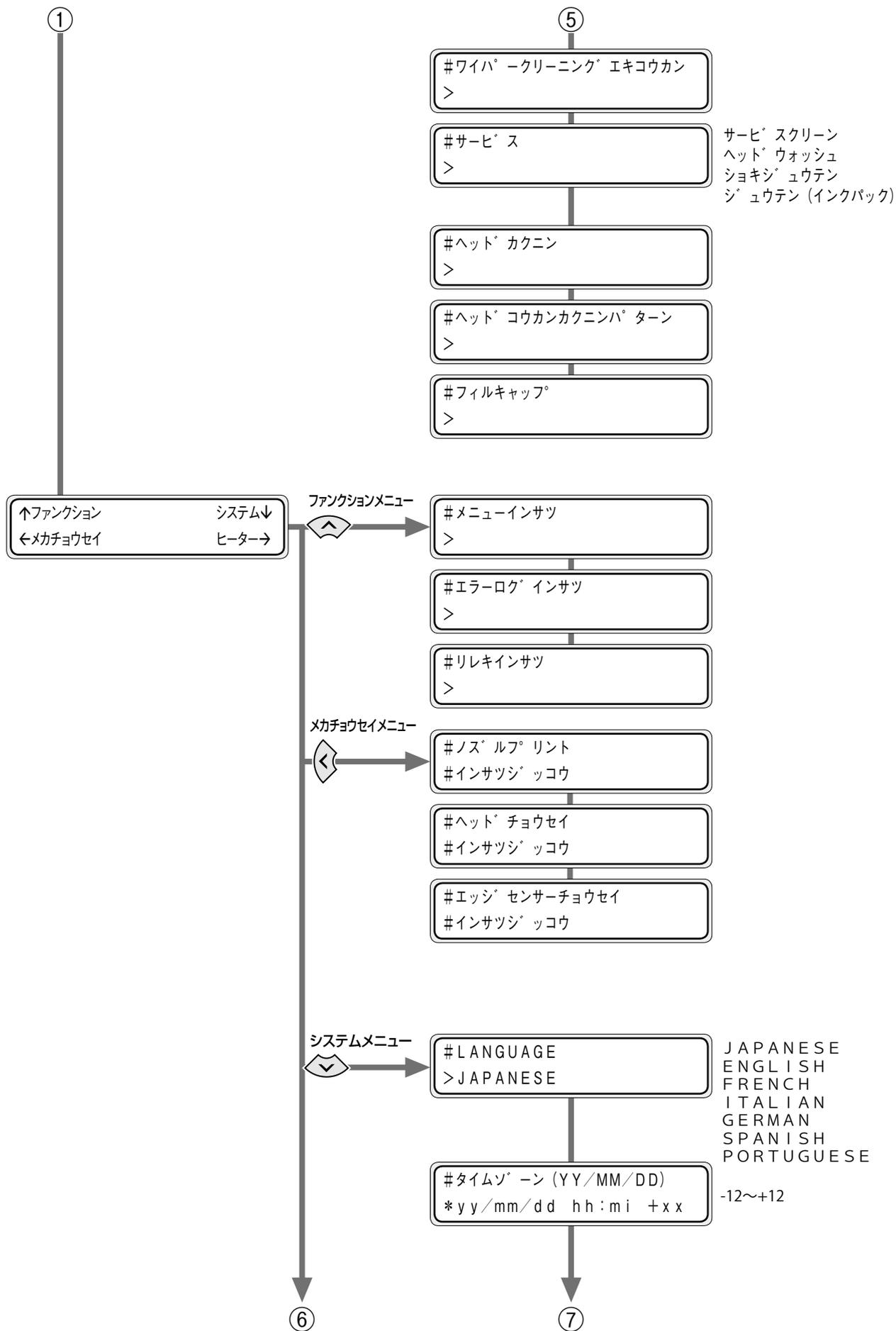
④

| | |
|--------------------------------|--|
| #セーフ スキャニング >01:インサツ チュウシ | インサツ チュウシ インサツ テイシ インサツ ケイコク&テイシ インサツ ケイコク&ゾッコウ |
| #オクリホセイチ >01:100.00% | 097.00~106.00% |
| #モト シホセイチ >01:+0000ハ° ルス | ±2000パルス (単位:約2.5μm) |
| #オウフクホセイチ1 L PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #オウフクホセイチ1 R PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #オウフクホセイチ2 L PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #オウフクホセイチ2 R PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #オウフクホセイチ3 L PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #オウフクホセイチ3 R PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #オウフクホセイチ4 L PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #オウフクホセイチ4 R PAPER >01:+00 | +/-、-15~+15 |
| #メテ ィアサ° ンリョウ >01:YYYm | 0~999m 0~3278ft |
| #メテ ィアサクシ° ヨ >02:TYPE02 OK? | |
| #ハ° ラメ-ター-コピ° -モト >01 | 01~20 |
| #ハ° ラメ-ター-コピ° -サキ >01→02* | 01~20 |

①

②





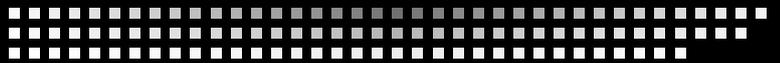
⑥

⑦

| | |
|--|---|
| #ナガ° サタンイ >ミリ | ミリ インチ |
| #オント° タンイ >セッシ | セッシ カシ |
| #ケイコクオン (キャップ° オープ° ン) >オン | オン オフ |
| #ケイコクオン (TURタイムアウト) >オン | オン オフ |
| #ケイコクオン (インクエラー) >オン | オン オフ |
| #ケイコクオン (セーフ スキャニング°) >オン | オン オフ |
| #BOOTハ° -ジ° ヨン *X. XX | |
| #F/Wハ° -ジ° ヨン *X. XX_YY | |
| #IPBハ° -ジ° ヨン *XX_YYZ | |
| #ACTハ° -ジ° ヨン *XX_YYZ | |
| #HCBハ° -ジ° ヨン *XX_YYZ | |
| #BTCハ° -ジ° ヨン *XXX | |
| #USBアド° レス *000 | 000~255 |
| #USB スピード° *HIGH-SPEED | HIGH-SPEED FULL-SPEED |
| #シヨキセツテイ > | |
| #アップ° テ° ート > | |
| #ジ° ヤムケンシュツカント° >キョウ (テ° フォルト) ジ° ヤク | キョウ (テ° フォルト) ジ° ヤク |
| #スタンバ° イジ° カン >30フン | 0フン 30フン 60フン 120フン エンド° レス |

ヒーターメニュー





| | | | | |
|--------------------------|-----------|----------------|-------------------------|----------|
| | かな | | | せ |
| | あ | | 洗浄液セット…………… | 14 |
| 厚いメディアに印刷したい…………… | | 32 | | た |
| | い | | 縦スジ…………… | 64 |
| インクの残量…………… | | 22 | | と |
| 印刷モード…………… | | 52 | (メディアを) 登録したい…………… | 26 |
| 印刷抜け…………… | | 67 | | に |
| | う | | ニジミが入る…………… | 63 |
| (メディアの) 浮き上がりを防止したい…………… | | 31 | | の |
| | え | | ノズル詰まり…………… | 67 |
| エッジセンサ…………… | | 92 | | は |
| | お | | (メディアの) 張り付きをなくしたい…………… | 30 |
| オウフクカクニン…………… | | 82, 87 | | ひ |
| メディアを送りたい…………… | | 37 | ヒータコントロールメニュー…………… | 70 |
| | き | | ヒータ温度設定…………… | 69 |
| 強力 (キョウリョク) クリーニング…………… | | 67 | ヒータの設定…………… | 69 |
| | く | | | ふ |
| 黒スジが入る…………… | | 59 | プリセットメディア初期値…………… | 27 |
| | け | | フィルキャップ…………… | 68 |
| 警告音…………… | | 48 | | へ |
| | こ | | ヘッドウォッシュ…………… | 14 |
| (メディアを) コピーしたい…………… | | 35 | ヘッドウォッシュ後のインク充填…………… | 19 |
| | さ | | | め |
| サービスクリーン…………… | | 9 | メディアの残量…………… | 46 |
| 左右の余白をできるだけなくしたい…………… | | 28 | メディアの残量…………… | 23 |
| | し | | メディア送り量…………… | 75, 77 |
| シート (カット) メディア…………… | | 42, 44, 45, 46 | メニューツリー…………… | 94 |
| 白スジが入る…………… | | 57 | | も |
| | す | | メディアを戻したい…………… | 37 |
| スマートパステクノロジ…………… | | 73 | | よ |
| | | | (登録したメディアを) 呼び出したい…………… | 28 |

汚れが入る..... 61

アルファベット

F

F/W のバージョンを確認したい 25

U

USB の接続状態を確認したい 24

